

令和5年度
中学生・高校生意識調査結果報告書
2023

令和6年3月

澁川市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 調査票の配布・回収状況.....	1
4 グラフ中の表記.....	1
II 調査結果	3
1 回答者の属性について.....	3
(1)性別.....	3
(2)中学生・高校生別.....	3
(3)居住地区.....	4
(4)居住年数(市内在住者のみ).....	5
(5)将来の渋川市への居留意向.....	6
2 市の現状の評価について.....	8
問1 市の取組の満足度・重要度.....	8
3 市に関する情報を得る方法について.....	22
問2 渋川市からの情報の入手方法.....	22
4 選挙について.....	23
問3 選挙への関わり.....	23
問4 投票意向.....	24
問5 投票に行かない理由.....	25
5 インターネット利用状況について.....	26
問6 インターネットを利用している情報通信機器.....	26
6 デジタル技術の活用について.....	27
問7 市に力を入れてほしいデジタル化の取組.....	27
7 食品ロスについて.....	28
問8 食品ロス問題の認知度.....	28
8 移動手段について.....	29
問9 外出時の移動手段.....	29
問10 路線バスの利用環境について.....	30
9 読書について.....	31
問11 紙の本を読む量.....	31

問12 電子書籍を読む量.....	32
問13 図書館の利用頻度.....	33
問14 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと.....	34
資料.....	37
中学生・高校生別満足度・重要度(加重平均値).....	37
調査票.....	39

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、中学生及び高校生の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指針となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするために実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内の中学校に通う第2学年の生徒
市内の高等学校に通う第2学年の生徒
渋川特別支援学校高等部の生徒
- ③ 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- ④ 調査時期 令和6(2023)年1月10日～1月31日

3 回答状況

- ① 対象数 1,269通(中学校527通・高等学校742通)
- ② 回答数 847通(中学校429通・高等学校418通)
- ③ 回収率 66.7%(中学校81.4%・高等学校56.3%)

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数をnで表記しています。
- ② 数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 市の取組の満足度・重要度(問1)の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0.0点を境として、2点に近いほど評価が高く、-2点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
ウ	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
エ	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
オ	不満	重要ではない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 本文中の「R4 年度」「R2 年度」「R 元年度」「H30 年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「令和 4 年度」「令和 2 年度」「令和元年度」「平成 30 年度」と示します。

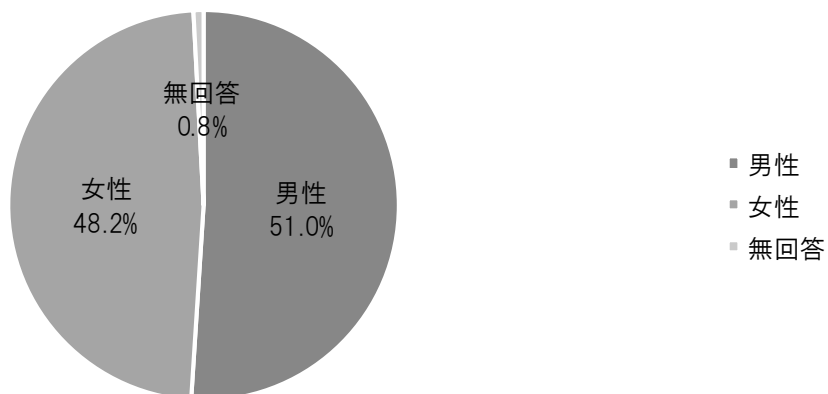
R4 年度	中学生・高校生意識調査 令和 4(2022)年 5～6 月実施 配布 1,323 通・回収 1,231 通(回収率 93.0%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒)
R2 年度	中学生・高校生意識調査 令和 2(2020)年 10～11 月実施 配布 1,398 通・回収 1,306 通(回収率 93.4%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒)
R 元年度	中学生・高校生意識調査 令和元(2020)年 5～6 月実施 配布 1,361 通・回収 1,282 通(回収率 94.2%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒)
H30 調査	中学生・高校生意識調査 平成 30(2018)年 5～6 月実施 配布 1,458 通・回収 1,348 通(回収率 92.5%) 調査対象は本調査と同様(市内中学校・高等学校に通う第 2 学年の生徒)

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性について

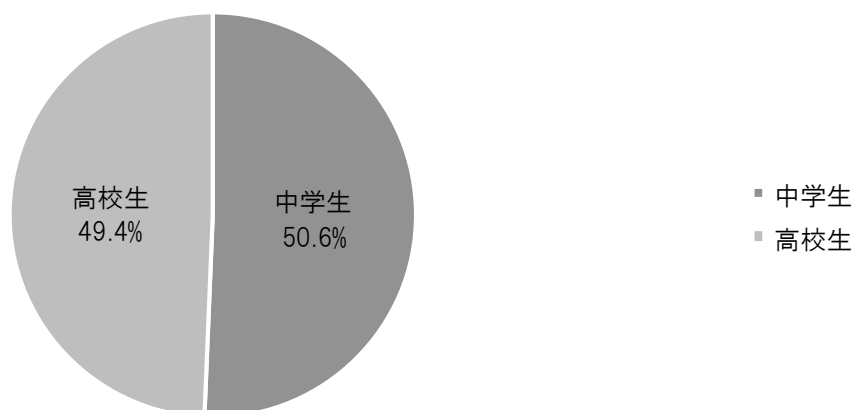
(1) 性別

男性（51.0%）、女性（48.2%）であり、若干男性が多くなっています。



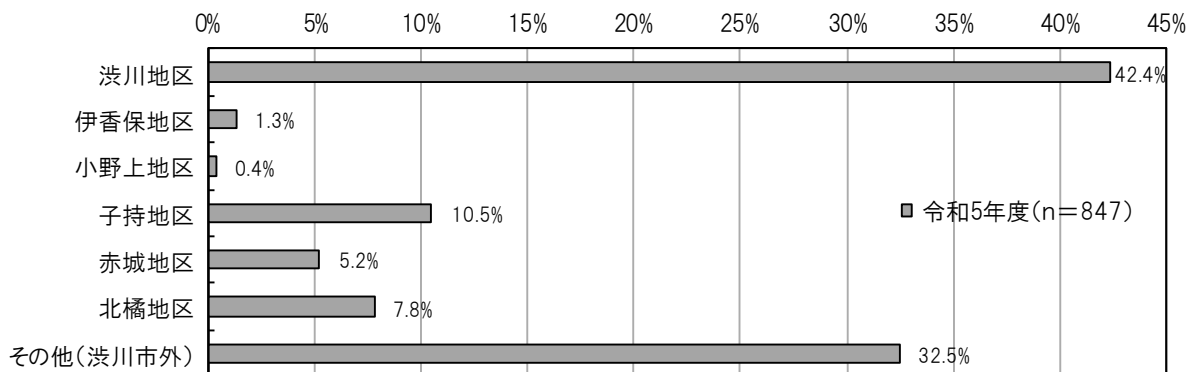
(2) 中学生・高校生別

中学生（49.4%）、高校生（50.6%）であり、ほぼ同数となっています。



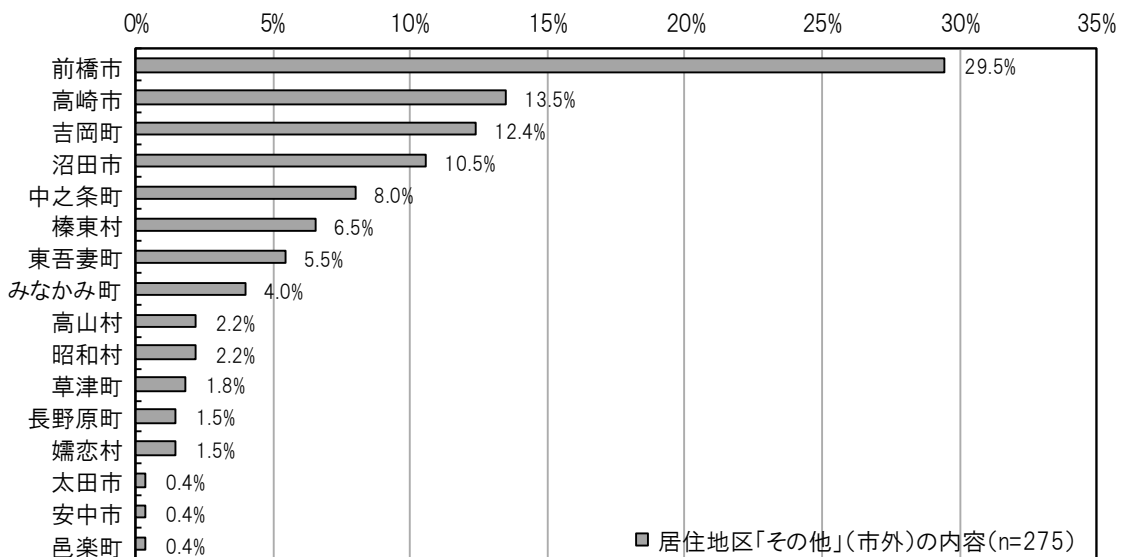
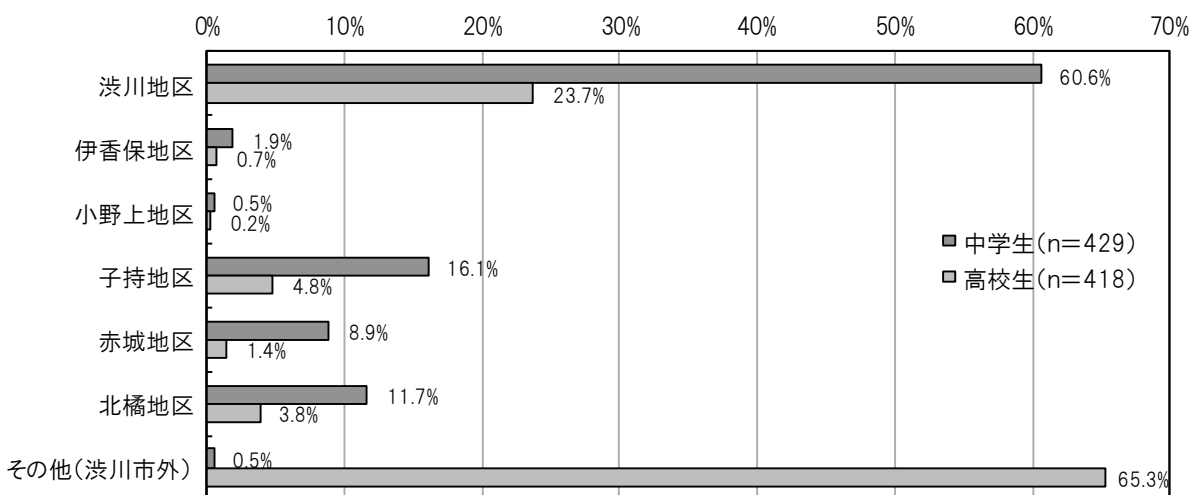
(3) 居住地区

渋川市内では、渋川地区（42.4%）が約4割で最も高く、次いでその他（市外）（32.5%）が約3割、子持地区（10.5%）、北橋地区（7.8%）が約1割となっています。



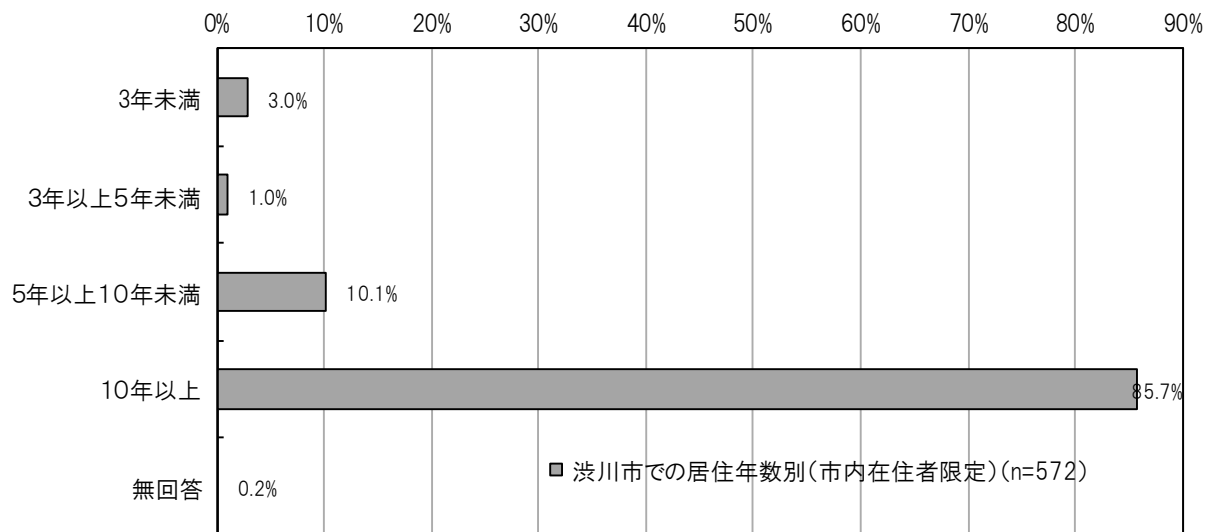
中学生は渋川地区（60.6%）、高校生はその他（市外）（65.3%）が6割以上でそれぞれ最も高くなっています。

高校生で特に高いその他（市外）の内訳は、前橋市（29.7%）が約3割で最も高く、次いで高崎市（13.6%）、吉岡町（12.5%）、沼田市（10.6%）が1割以上となっています。



(4) 居住年数（市内在住者のみ）

10年以上（85.7%）が8割以上で特に高くなっています。

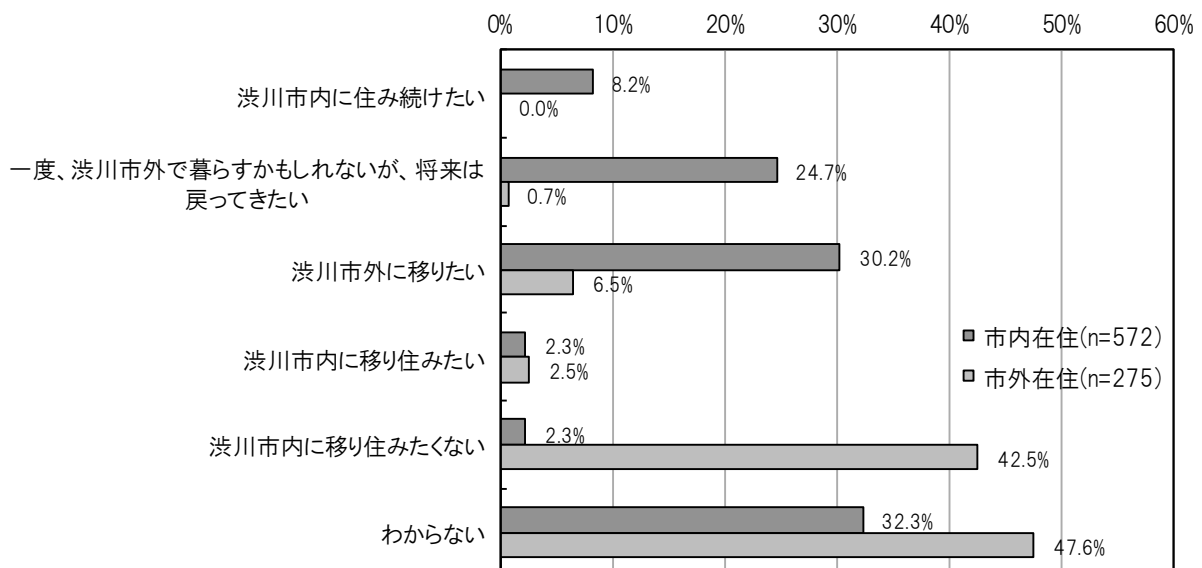
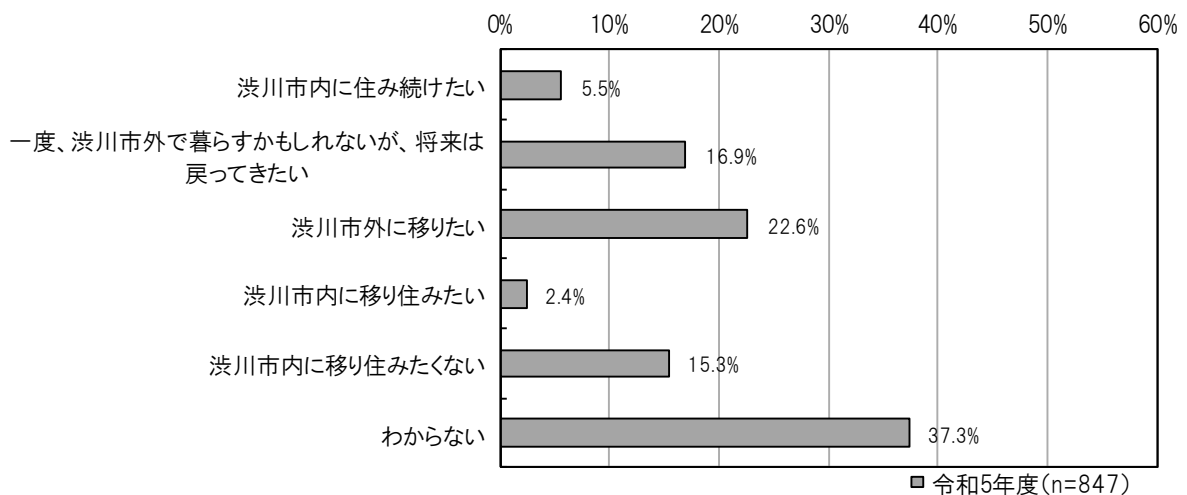


(5) 将来の渋川市への居留意向

「わからない」(37.3%)が3割以上で最も高くなっています。

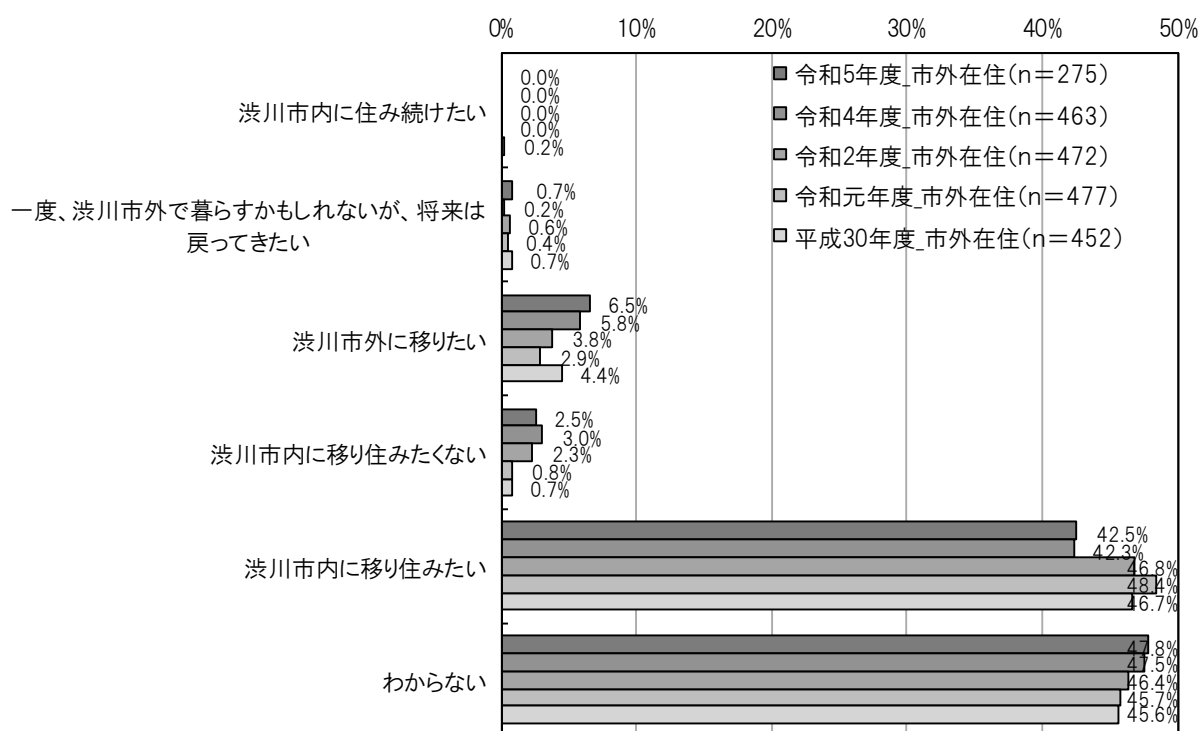
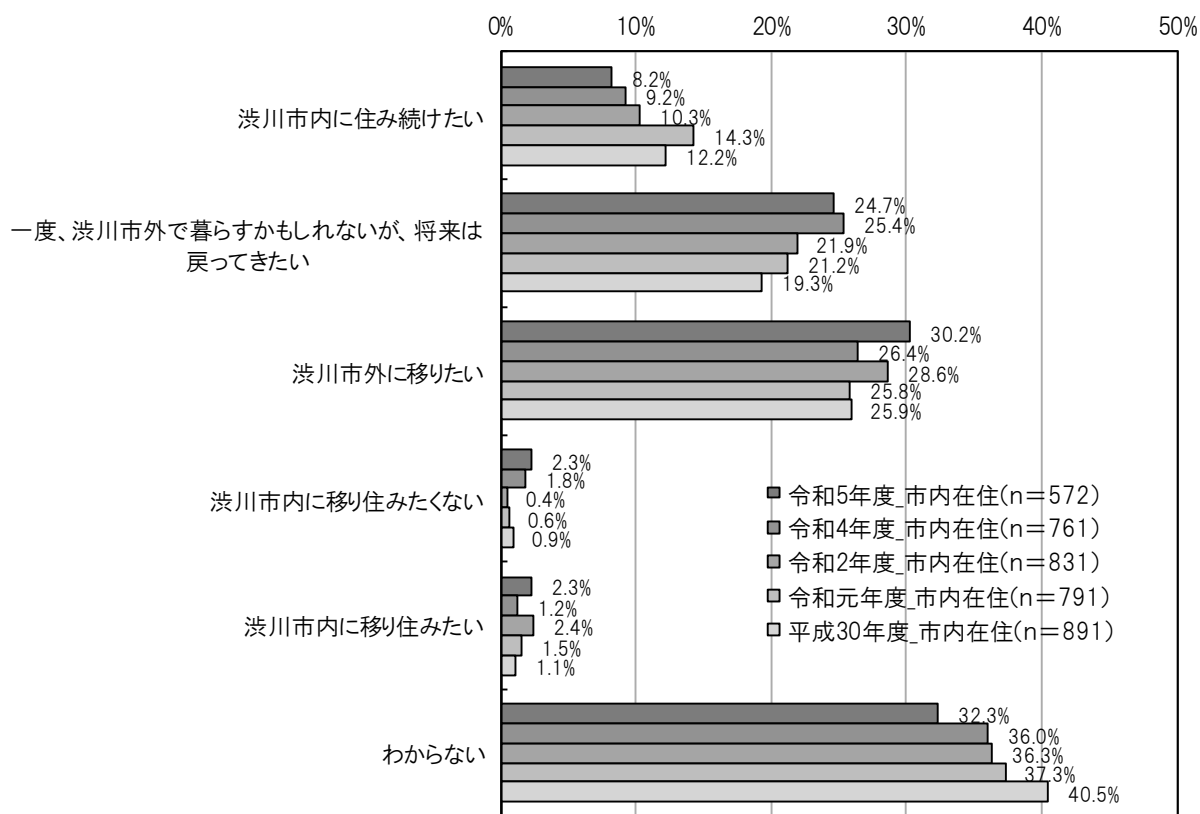
市内在住者と市外在住者を見ると、市内在住者は、「わからない」(32.3%)が3割以上で最も高く、次いで「渋川市外に移りたい」(30.2%)が約3割、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」(24.7%)が2割以上となっています。

市外在住者は、「わからない」(47.6%)が約5割で最も高く、次いで「渋川市内に移り住みたくない」(42.5%)が4割以上となっています。



市内在住者、市外在住者それぞれについて、前回までの調査結果と比較すると、いずれも大きな変化は見られませんが、市内在住者では「澁川市外へ移りたい」が高くなる一方、「わからない」が低くなる傾向がうかがえます。

一方、市外在住者では「澁川市内に移り住みたくない」がR4年度よりも若干低くなっています。



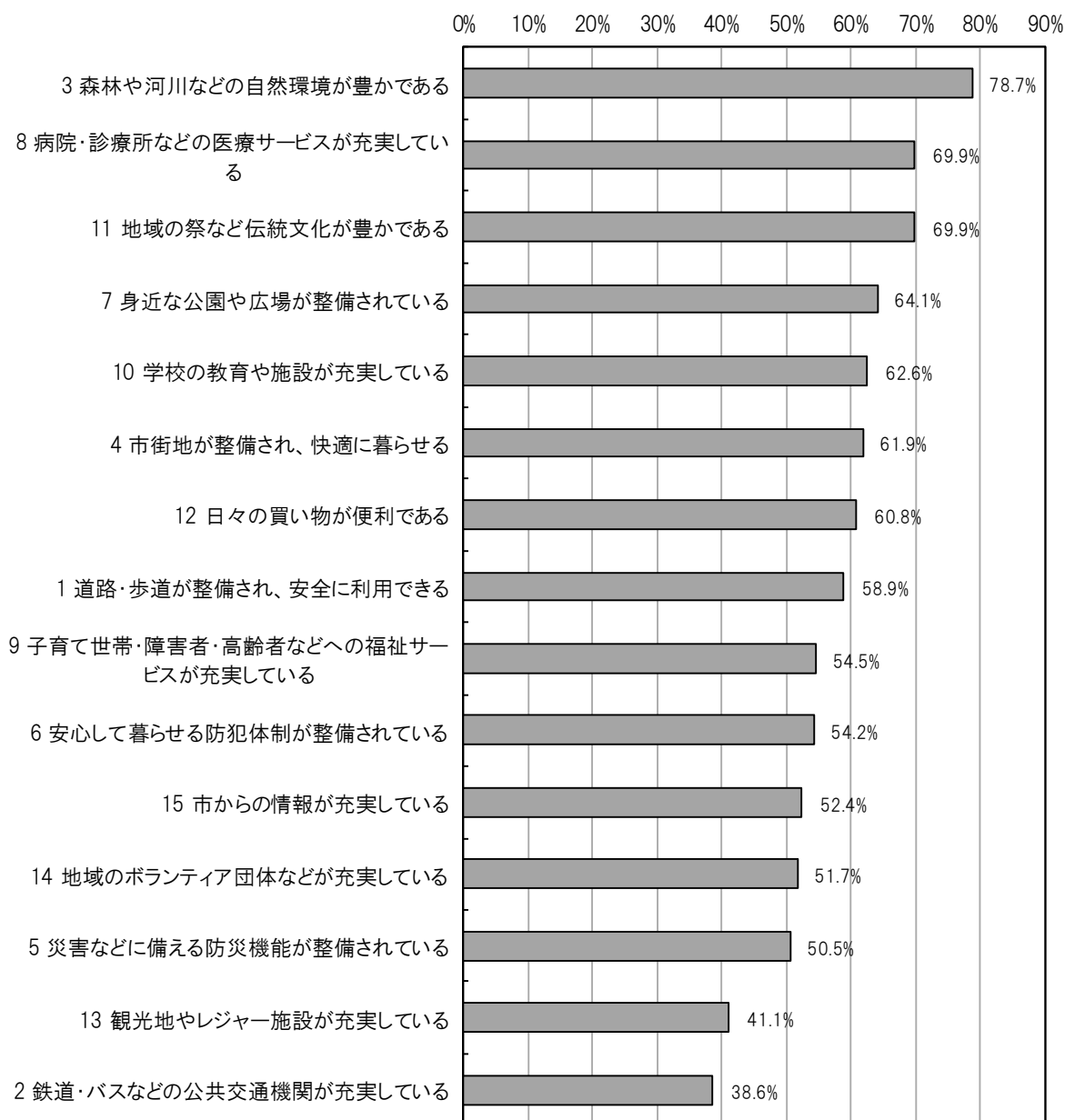
2 市の現状の評価について

問1 市の取組の満足度・重要度

あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。(各項目の「満足度」「重要度」を5段階評価・1つずつ選択)

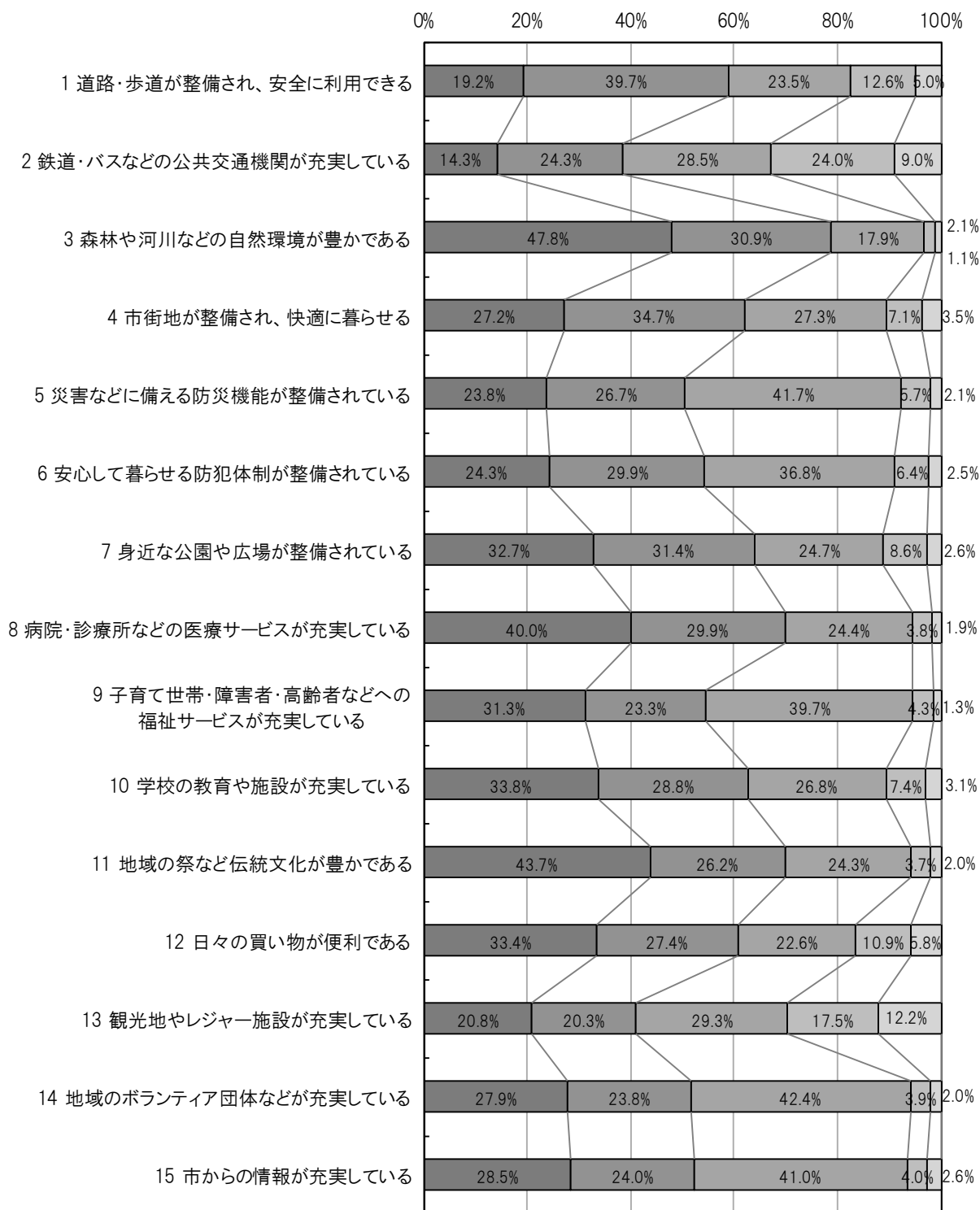
(1) 満足度

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(78.7%)が約8割で最も高く、次いで「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(69.9%)、「11 地域の祭りなど伝統文化が豊かである」(69.9%)が約7割程度となっています。



令和5年度 合計値『満足』(「満足」+「どちらかと言えば満足」)

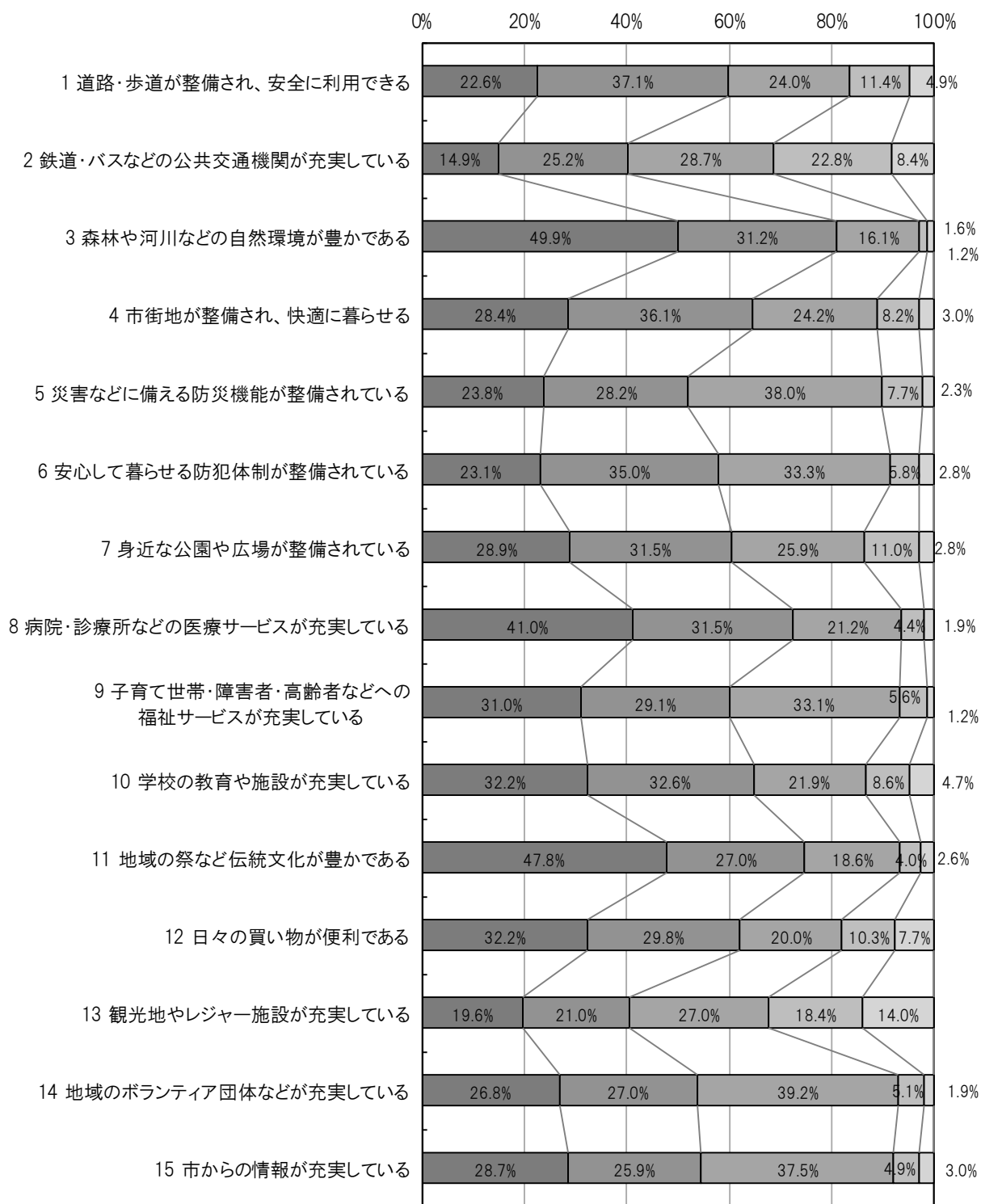
令和5年度 全体(n=847)



■ 満足 ■ どちらかと言えば満足 ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば不満 □ 不満
 令和5年度 全体(n=847)

【中学生・満足度】

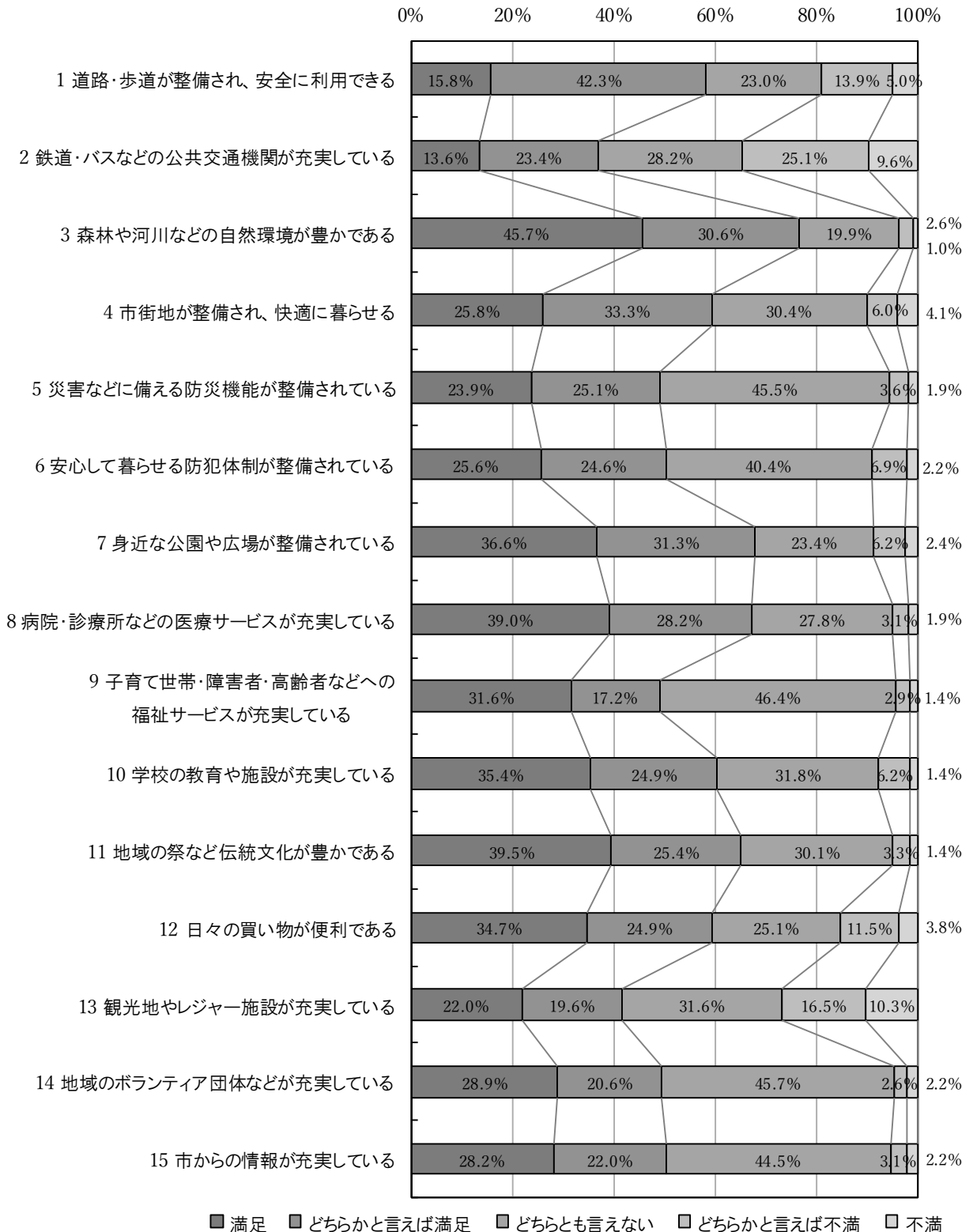
「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(81.1%)が8割以上で最も高くなっています。次いで「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」(74.8%)が7割以上となっています。



■ 満足 ■ どちらかと言えば満足 ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば不満 ■ 不満
令和5年度 中学生(n=429)

【高校生・満足度】

「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」(76.3%)が7割以上で最も高く、次いで「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(67.2%)、「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」(64.8%)が6割以上となっています。

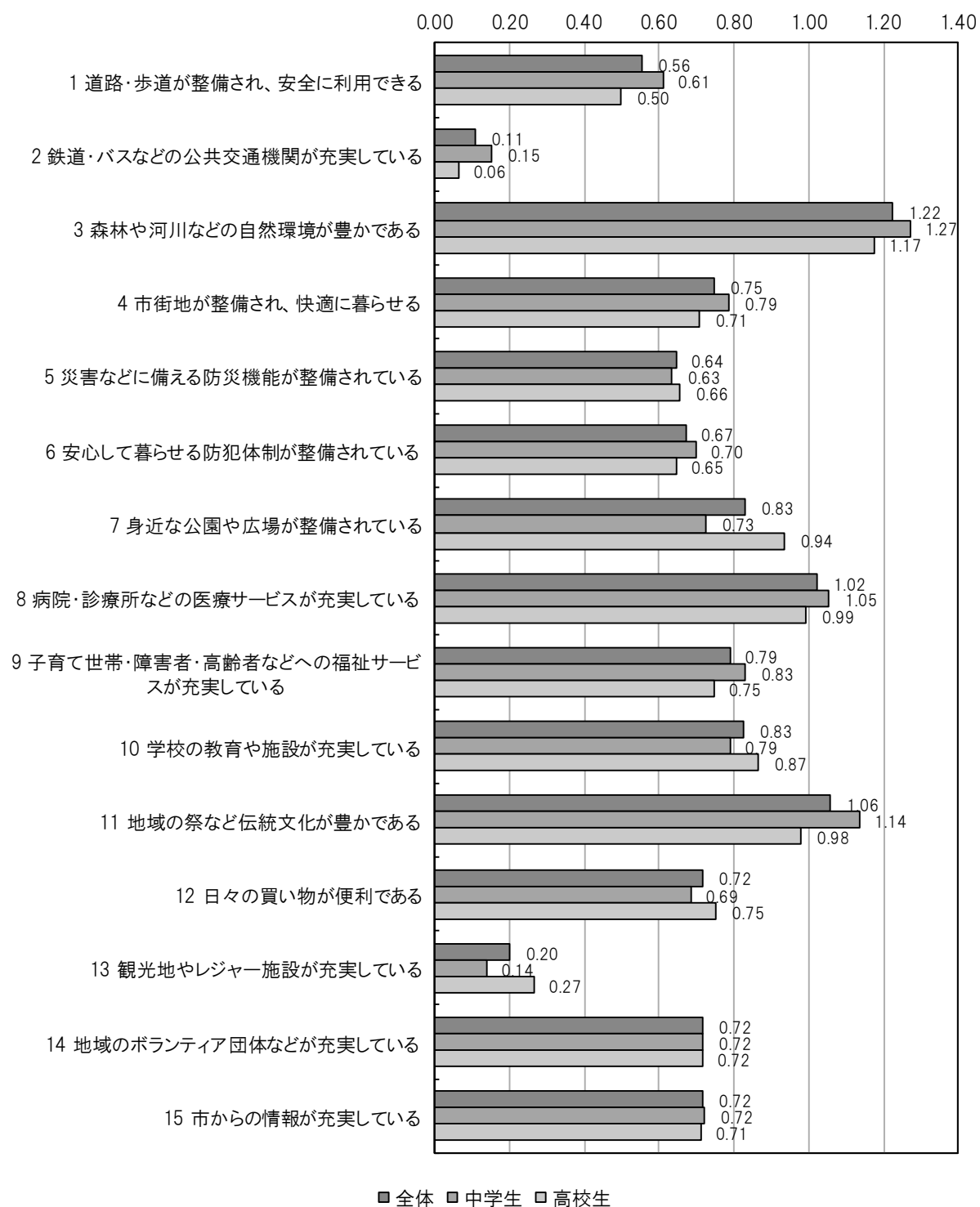


令和5年度 高校生(n=418)

【加重平均値・満足度】

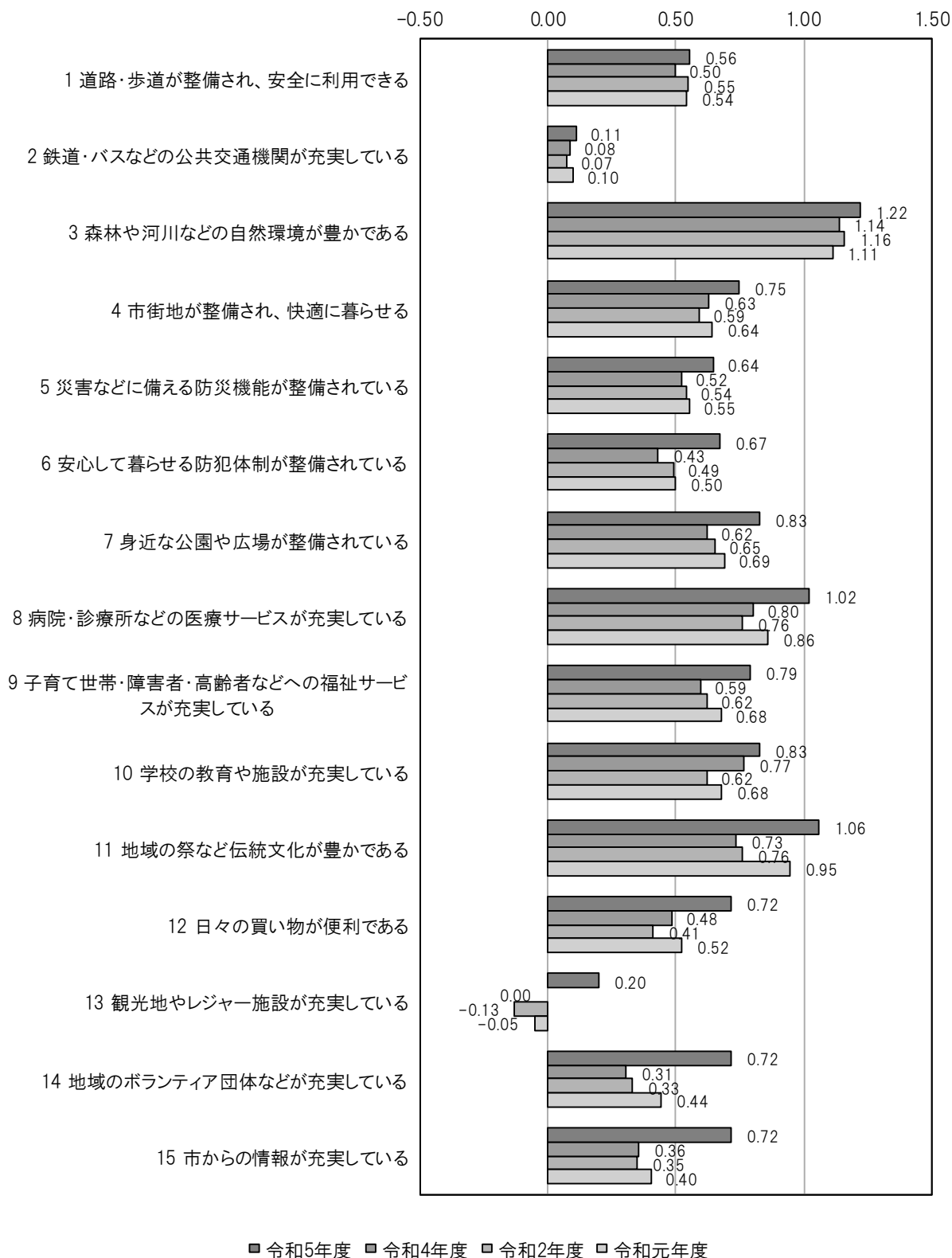
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれも全ての項目がプラス値となっており、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（全体 1.22 ポイント、中学生 1.27 ポイント、高校生 1.17 ポイント）が最も高くなっています。

一方、全体、中学生は「13 観光地やレジャー施設が充実している」（全体 0.20 ポイント、中学生 0.14 ポイント、高校生 0.27 ポイント）が最も低く、高校生は「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（全体 0.11 ポイント、中学生 0.15 ポイント、高校生 0.06 ポイント）が最も低くなっています。



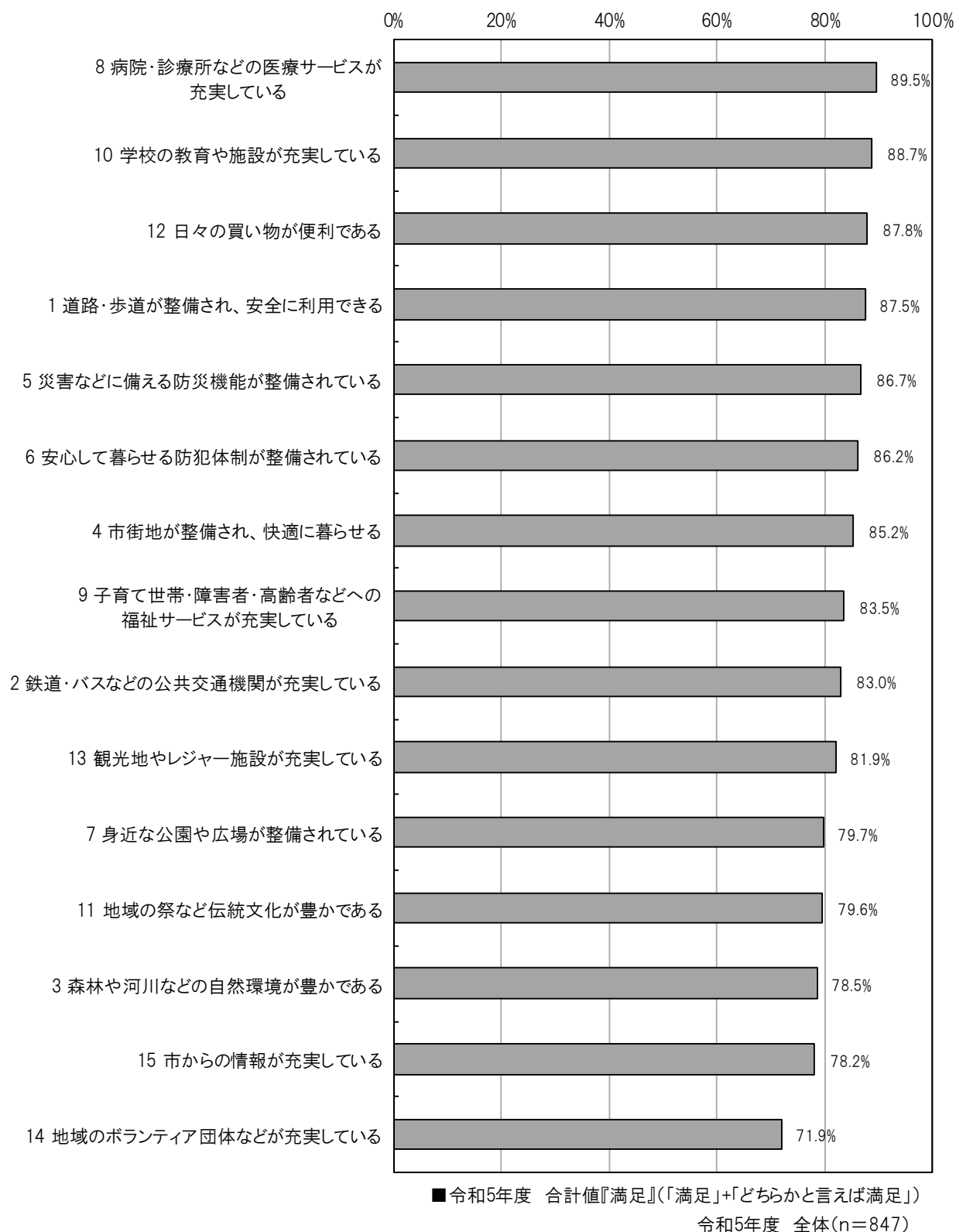
【加重平均値・全体・満足度の経年変化】

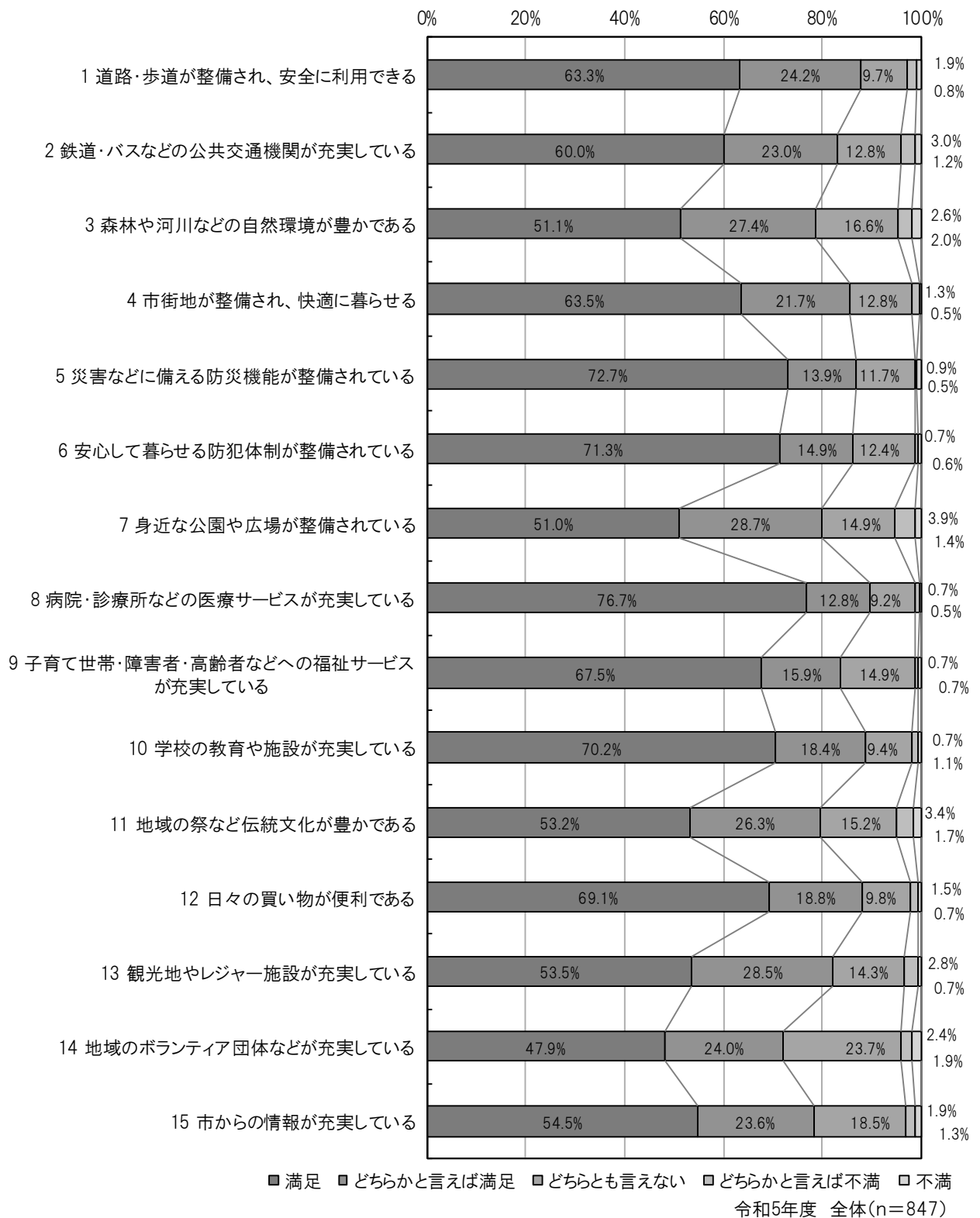
加重平均値を見ると、全体的に満足度が向上しており、特に「14 地域のボランティア団体などが充実している」や「15 市からの情報が充実している」は特に向上幅が大きくなっています。



(2) 重要度

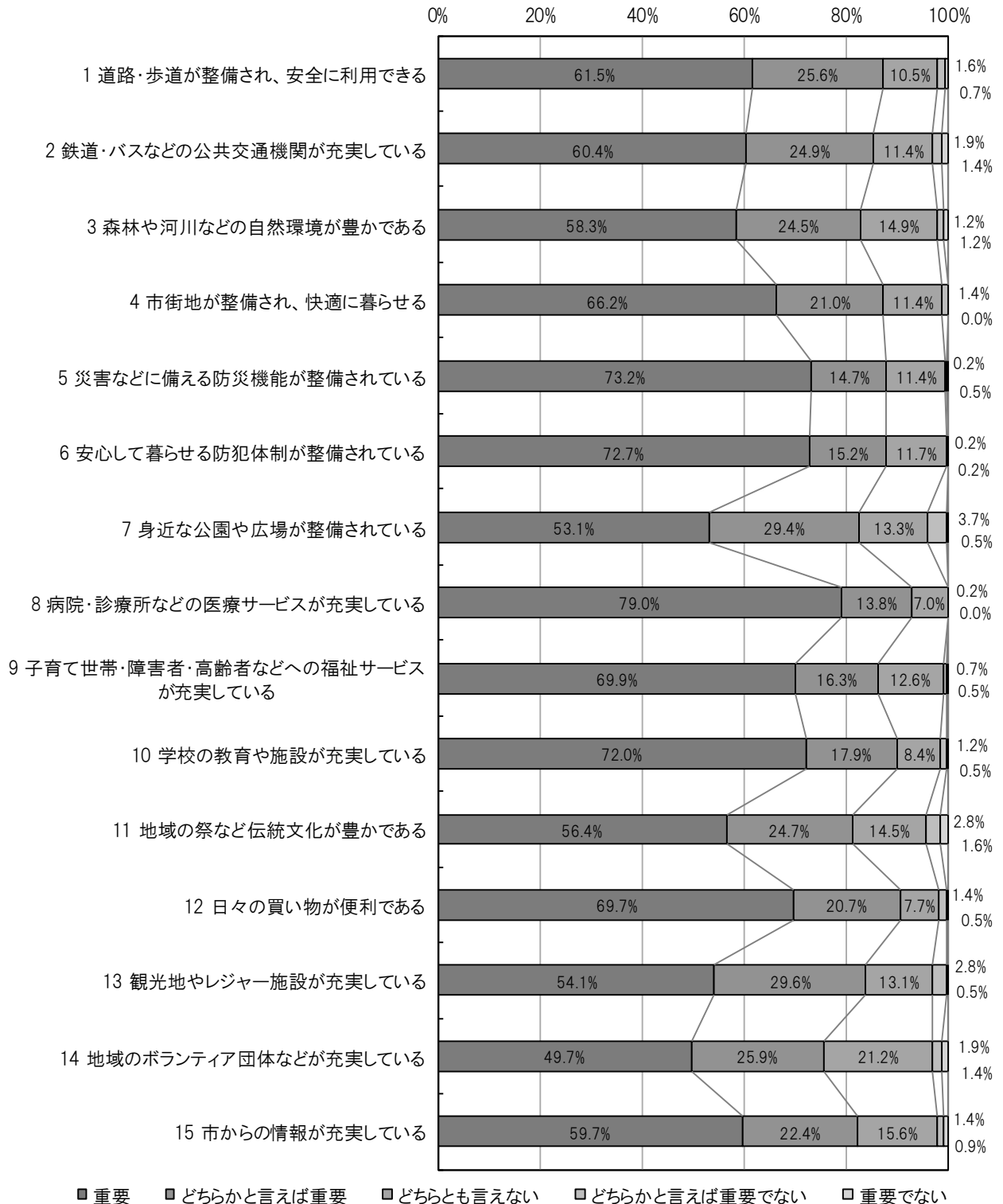
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(89.5%)が最も高く、次いで「10 学校の教育や施設が充実している」(88.7%)、「12 日々の買物が便利である」(87.8%)が約9割近くとなっています。全15項目中10項目が8割以上となっており、各項目のが重要であると捉えられている状況が見られます。





【中学生・重要度】

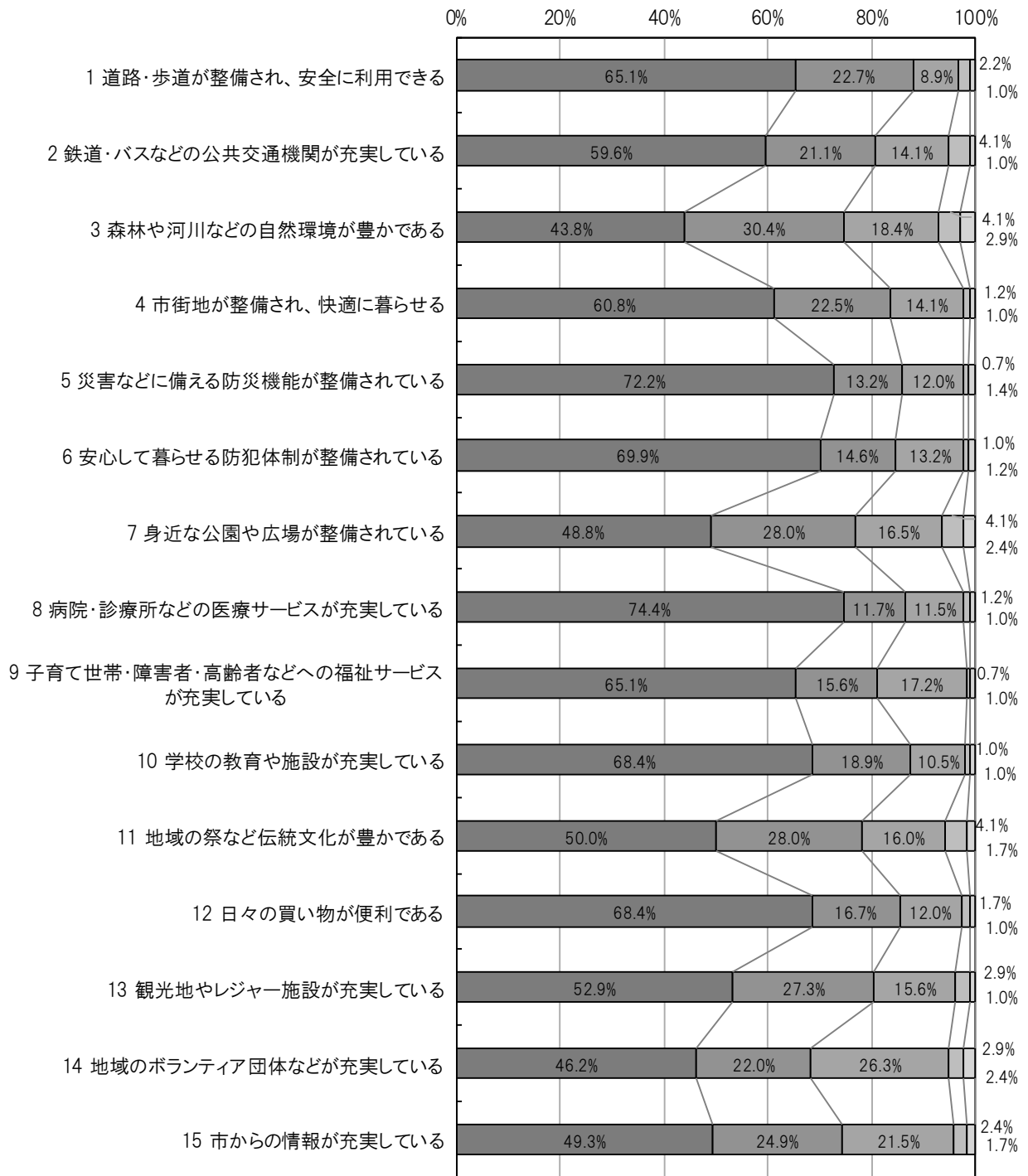
「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(92.8%)、「10 学校の教育や施設が充実している」(90.0%)、と9割以上となっています。また、「14 地域のボランティア団体などが充実している」(75.5%) 以外の12項目が8割以上となっています。



令和5年度 中学生(n=429)

【高校生・重要度】

「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計値『重要』を見ると、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」(87.8%)、が約9割で最も高くなっています。「10 学校の教育や施設が充実している」(87.3%)、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」(86.1%)など、8割以上の項目が9項目となっています。一方で「14 地域のボランティア団体などが充実している」(68.2%)は7割以下と、他項目と比べ低くなっています。



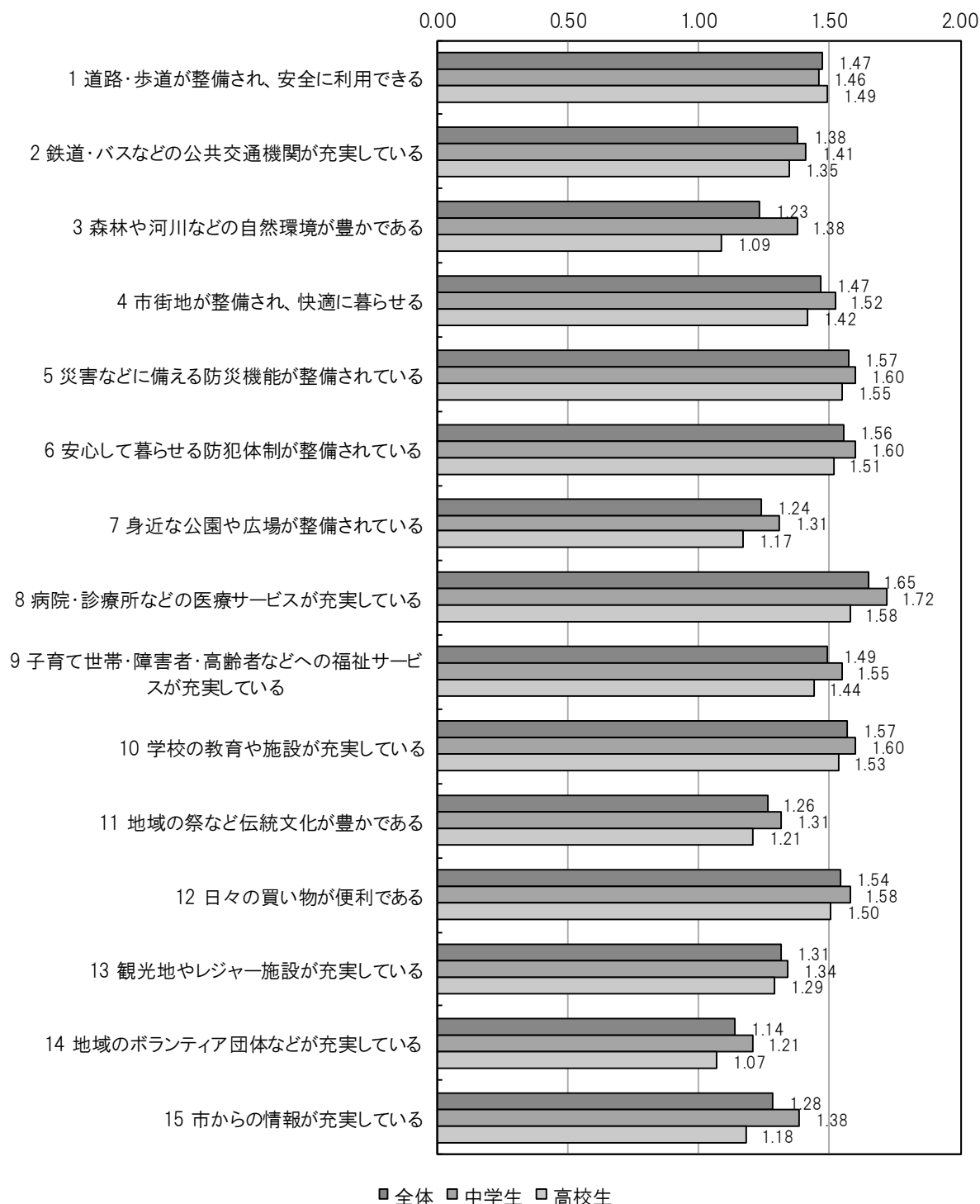
■ 重要 ■ どちらかと言えば重要 ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば重要でない ■ 重要でない

令和5年度 高校生(n=418)

【加重平均値・重要度】

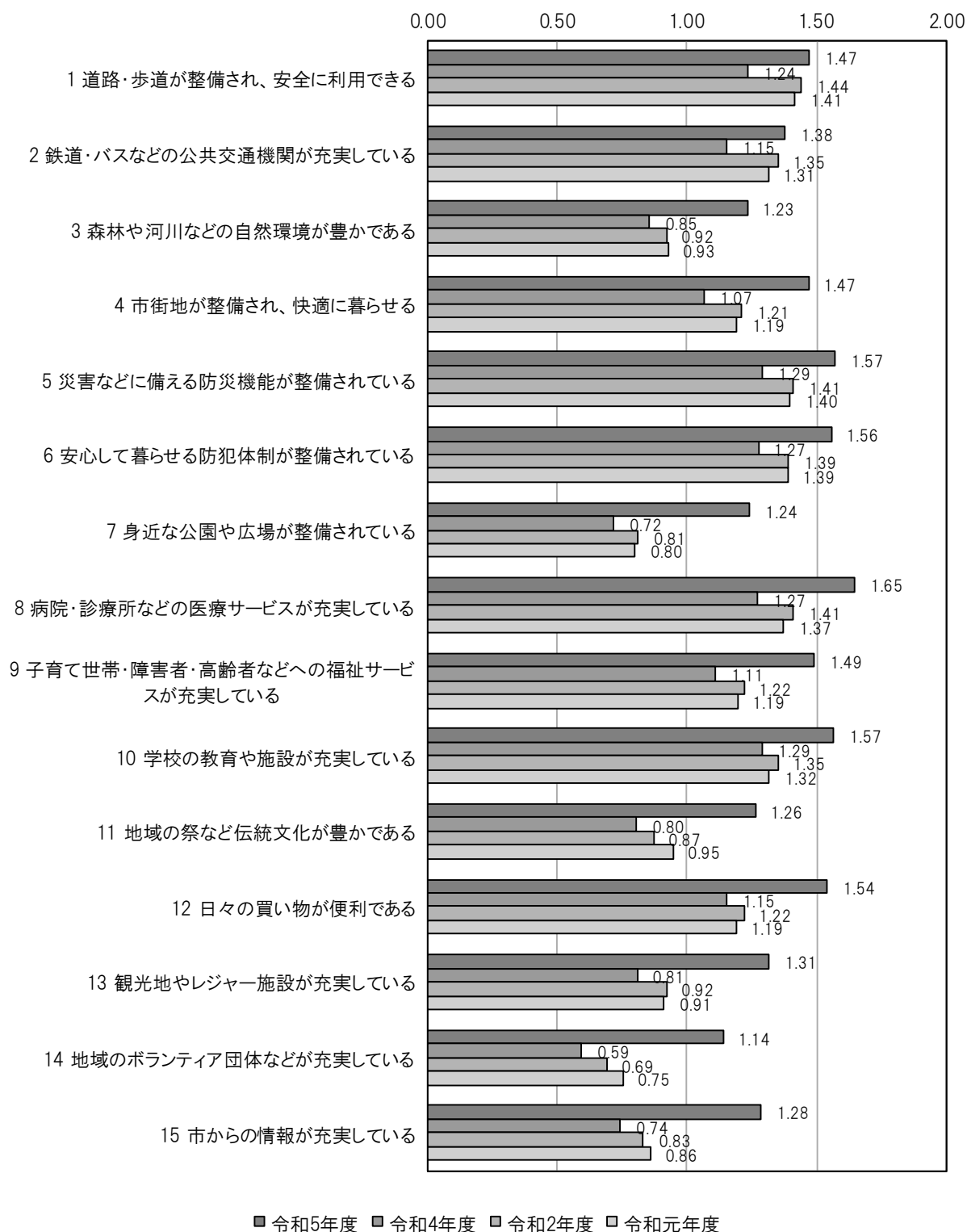
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれもすべての項目がプラス値となっています。全体、中学生、高校生共に「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（全体 1.65 ポイント、中学生 1.72 ポイント、高校生 1.58 ポイント）が最も高くなっています。

一方、全体、中学生、高校生のいずれも「14 地域のボランティア団体などが充実している」（全体 1.14 ポイント、中学生 1.21 ポイント、高校生 1.07 ポイント）が最も低くなっています。



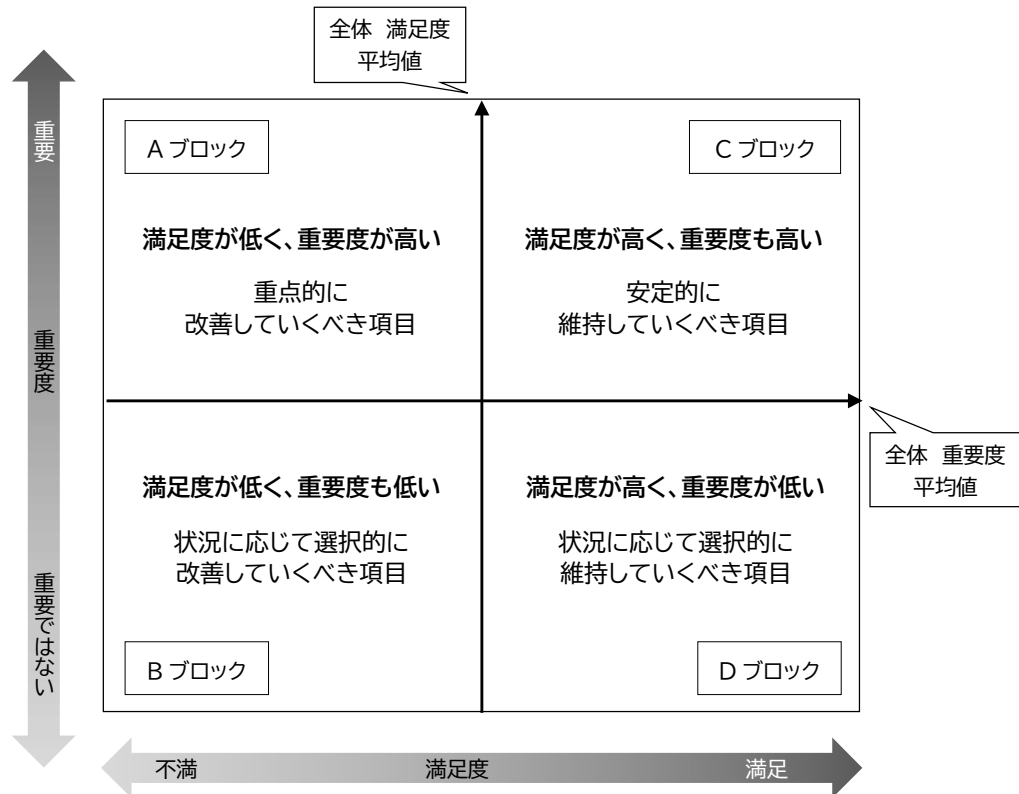
【加重平均値・全体・重要度の経年変化】

加重平均値を見ると、満足度と同様に全体的に向上しており、特に「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」「12 日々の買物が便利である」「13 観光地やレジャー施設が充実している」「14 地域のボランティア団体などが充実している」「15 市からの情報が充実している」の5項目は特に向上幅が大きくなっています。



(3) 15項目の満足度と重要度の関係・経年変化

15項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



Aブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

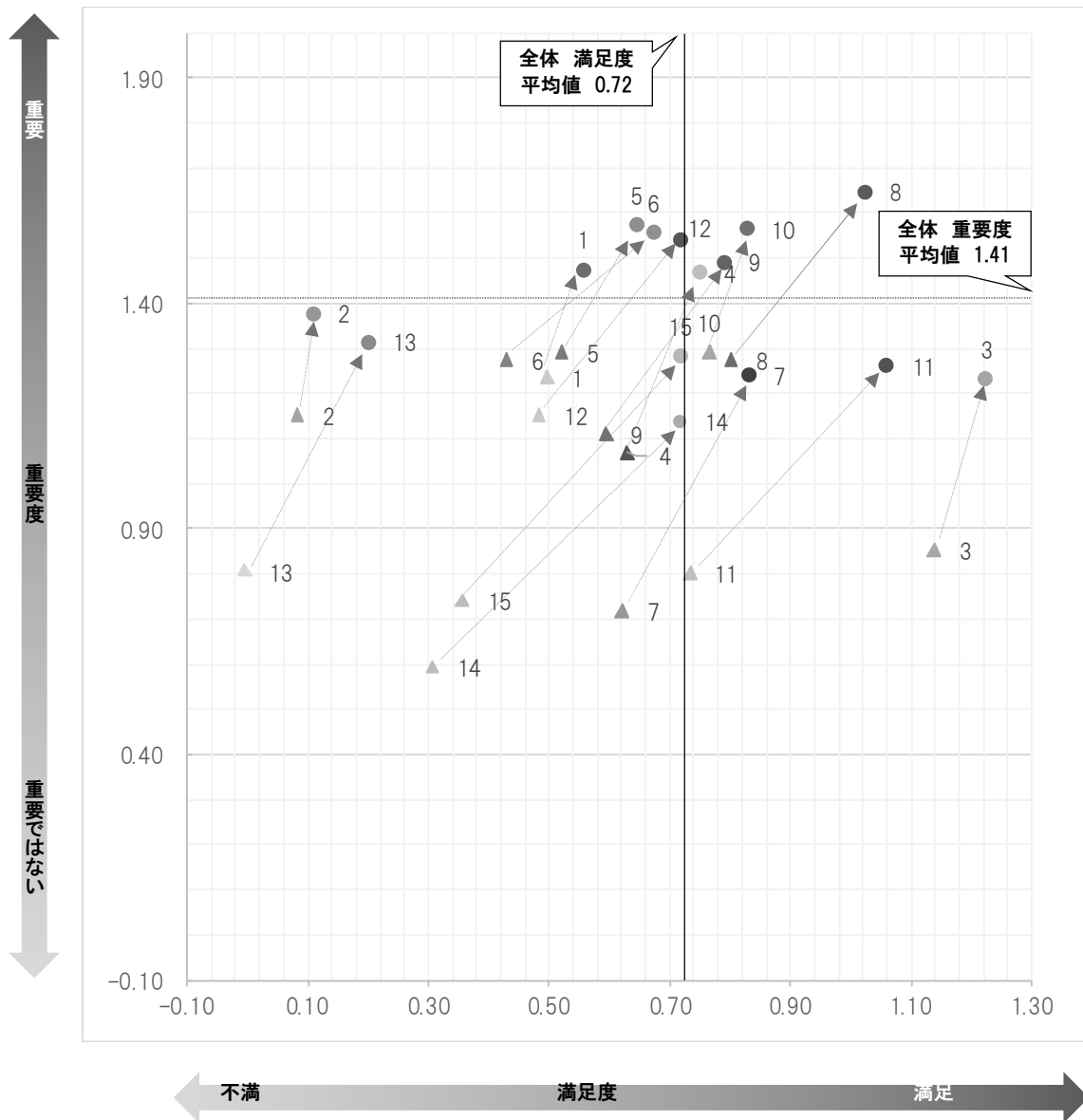
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Dブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物に便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

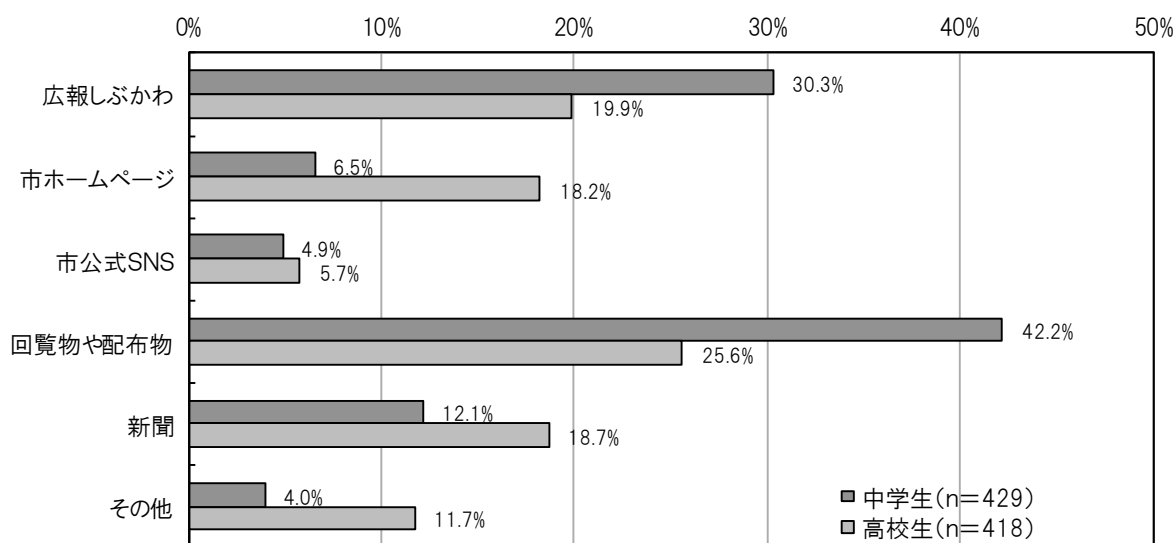
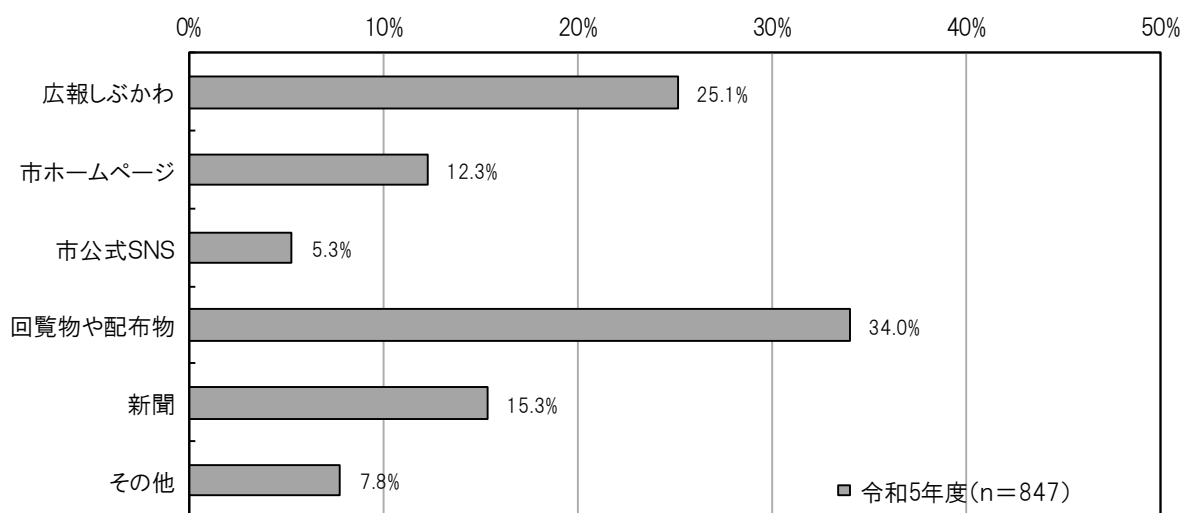
3 市に関する情報を得る方法について

問2 渋川市からの情報の入手方法

あなたは、渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか。（1つ選択）

「回覧物や配布物」（34.0%）が3割以上で最も高く、次いで「広報しぶかわ」（25.1%）が2割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「回覧物や配布物」（中学生42.2%、高校生25.6%）が最も高く、中学生は4割以上、高校生は2割以上で、中学生の方が割合が高くなっています。次いで、中学生、高校生のいずれも「広報しぶかわ」（中学生30.3%、高校生19.9%）となっております。中学生は市内在住者の割合が高いことから、回覧物や配布物、広報などの媒体から情報を入手する傾向が高くなっていると推測されます。



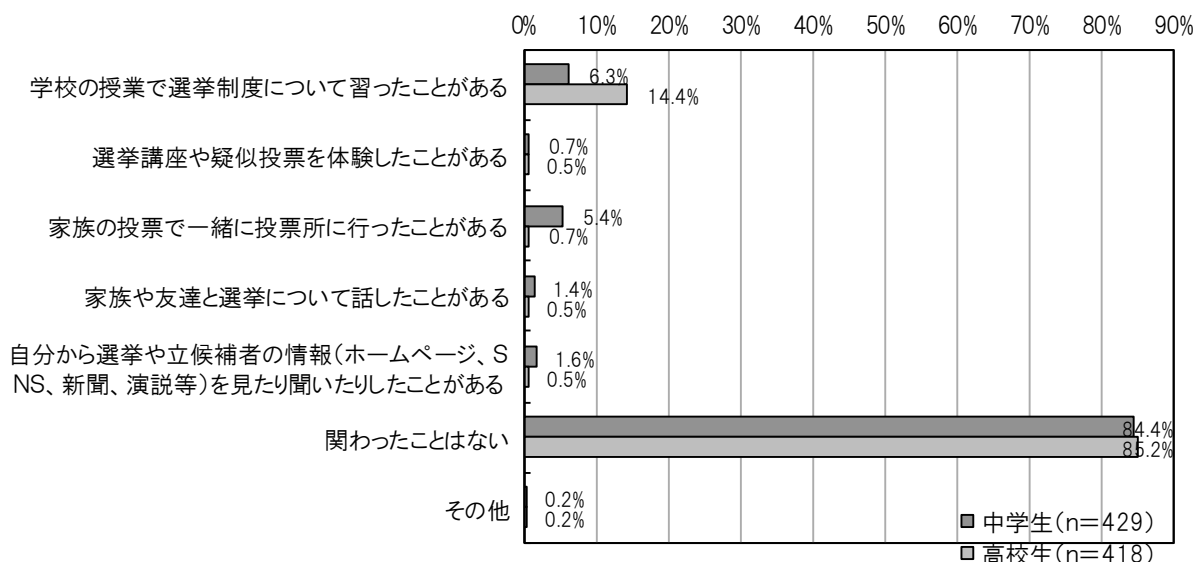
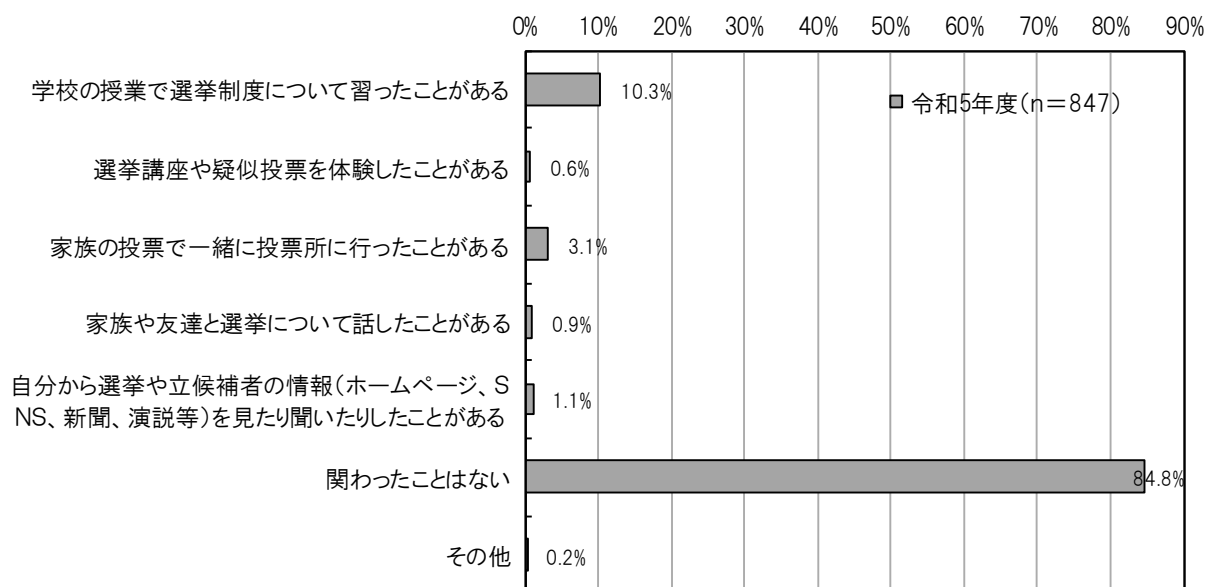
4 選挙について

問3 選挙への関わり

あなたは、選挙（制度、投票、実際の選挙）に関して、今までにどのようなことに関わったことがありますか。（全て選択）

「関わったことはない」（84.8%）が8割以上で最も高く、次いで「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」（10.2%）が1割程度となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「関わったことはない」（中学生 84.4%、高校生 85.2%）が最も高く、中学生、高校生共に8割以上です。次いで、中学生は「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」「家族の投票で一緒に投票所に行ったことがある」が約5%程度、高校生は「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」が約15%程度となっています。中学生、高校生共に選挙に関わる機会が少ない状況が見られます。

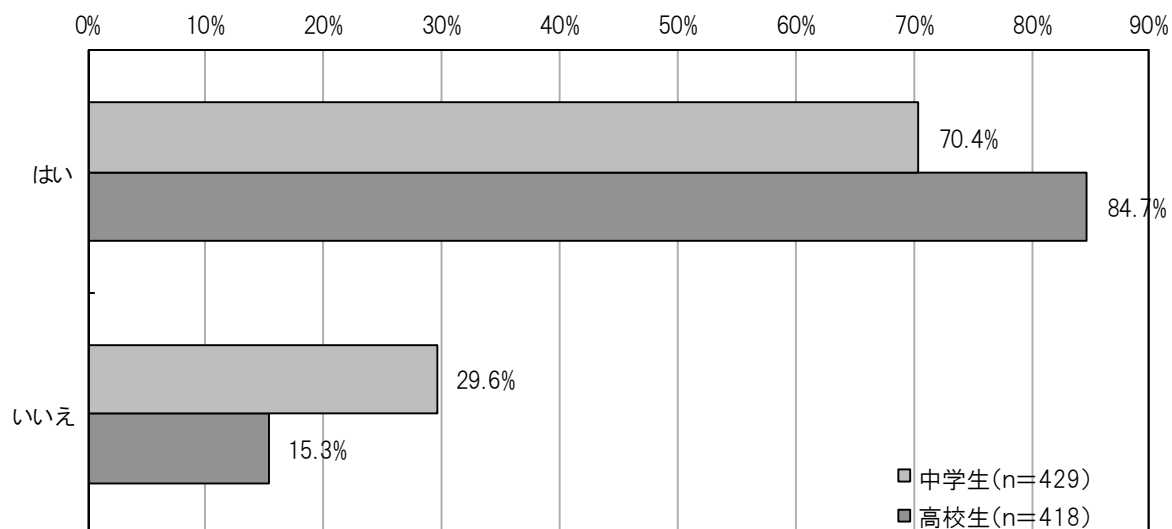
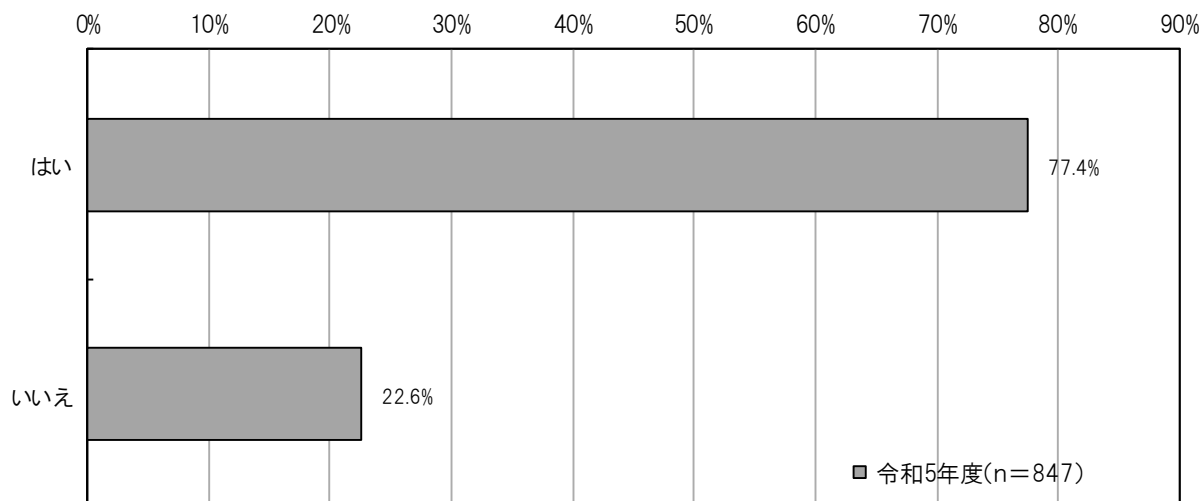


問4 投票意向

あなたは、18歳になったら選挙で投票に行こうと思いますか。(1つ選択)

「はい」(77.4%)が7割以上、「いいえ」(22.6%)が約2割となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「はい」(中学生70.4%、高校生84.7%)が高く、中学生は7割以上、高校生は約8割以上となっています。一方、「いいえ」(中学生29.6%、高校生15.3%)が中学生は約3割、高校生は2割未満となっています。

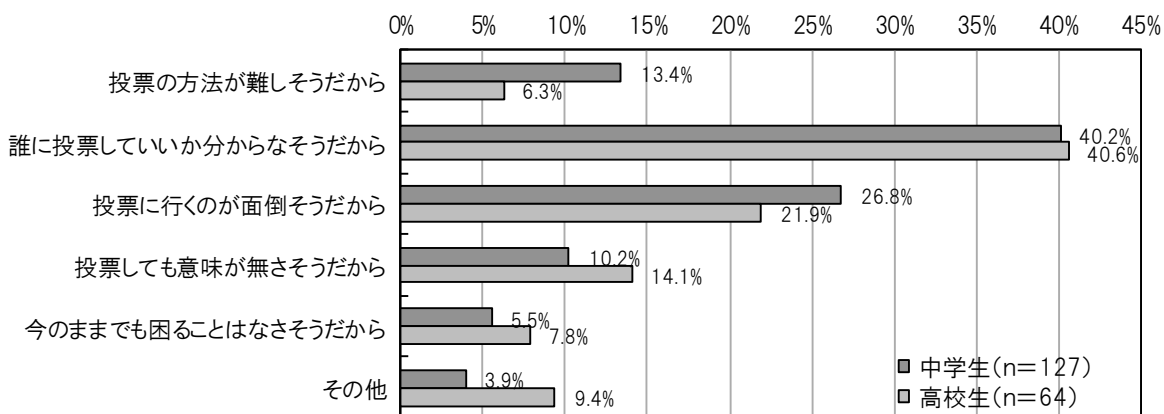
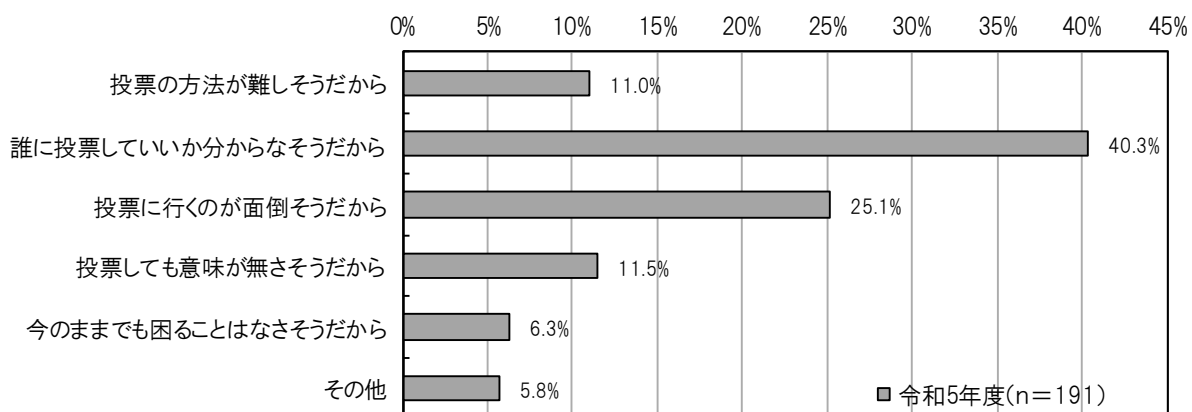


問5 投票に行かない理由

あなたが投票に行かないと思っている主な理由は何ですか。(1つ選択・「問3 投票意向」で、「いいえ」を選択した場合)

「誰に投票していいか分からなそうだから」(40.3%)が4割以上と高く、「投票に行くのが面倒そうだから」(25.1%)が2割以上、次いで「投票しても意味が無さそうだから」(11.5%)、「投票の方法が難しそうだから」(11.0%)が1割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生共に「誰に投票していいか分からなそうだから」が最も高く、中学生(40.2%)、高校生(40.6%)と4割以上となっています。



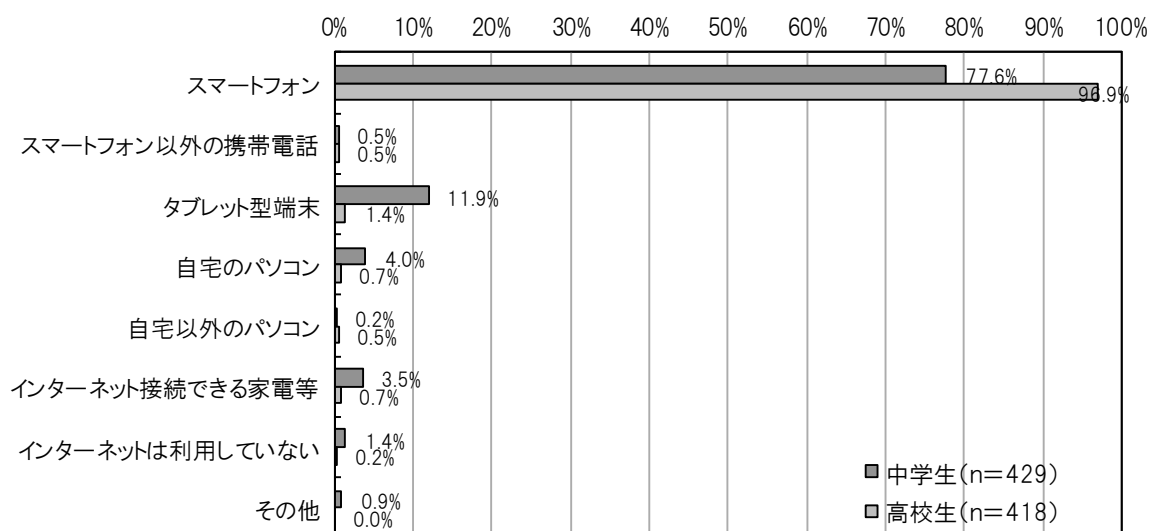
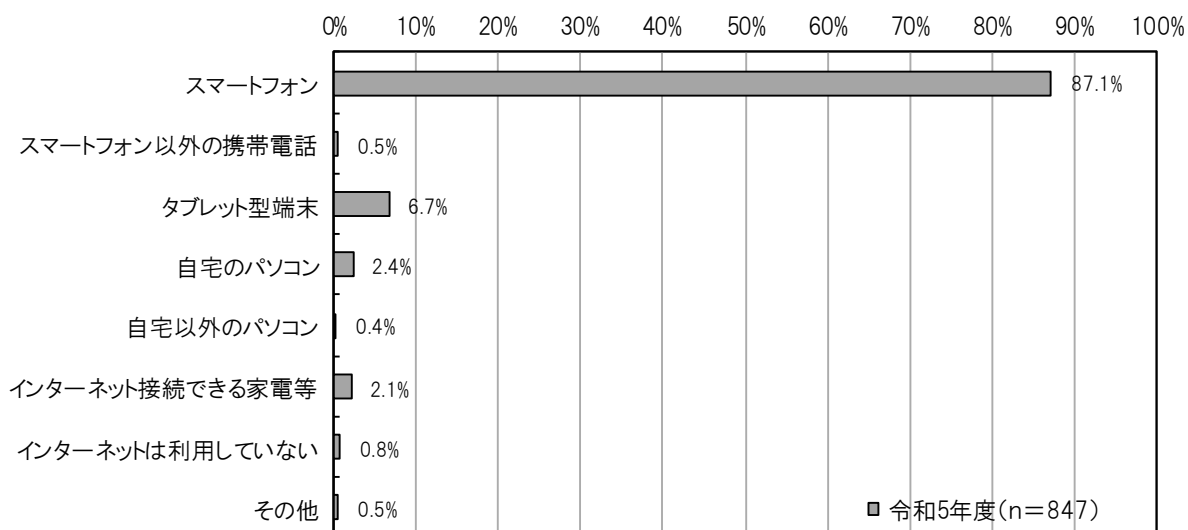
5 インターネット利用状況について

問6 インターネットを利用している情報通信機器

あなたは、どのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか。
(全て選択)

「スマートフォン」(87.1%) が約9割で特に高くなっています。次いで「タブレット型端末」(6.7%) ですが、「スマートフォン」とは大きく差があります。

属性別に見ると、中学生、高校生のいずれも「スマートフォン」(中学生77.6%、高校生96.9%) が最も高く、中学生は7割以上、高校生はほぼ全員となっています。次いで中学生は「タブレット型端末」(11.9%) が1割程度となっていますが、高校生はインターネットの利用をほぼスマートフォンで行っている状況が見られます。



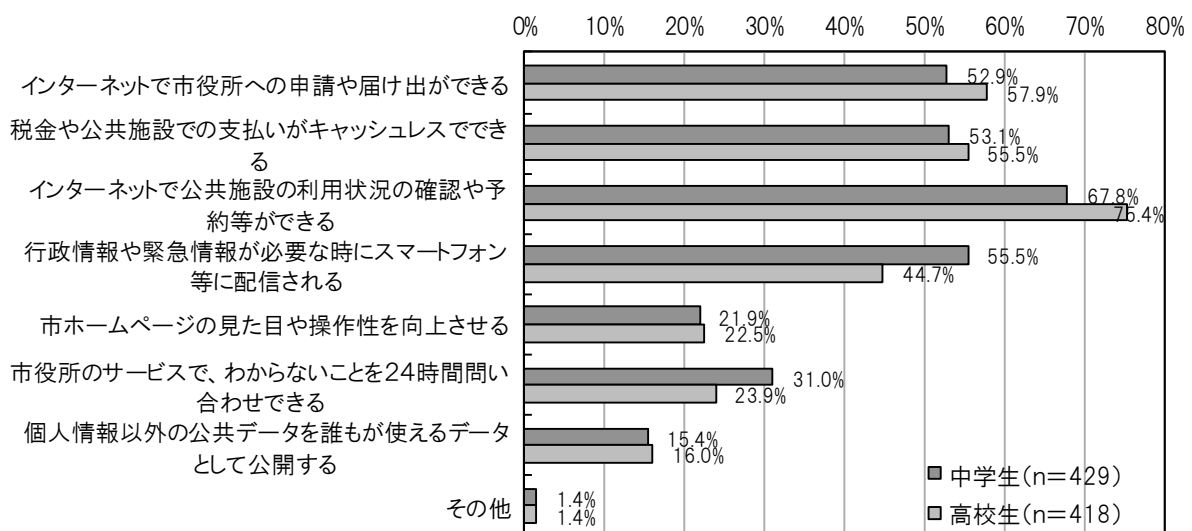
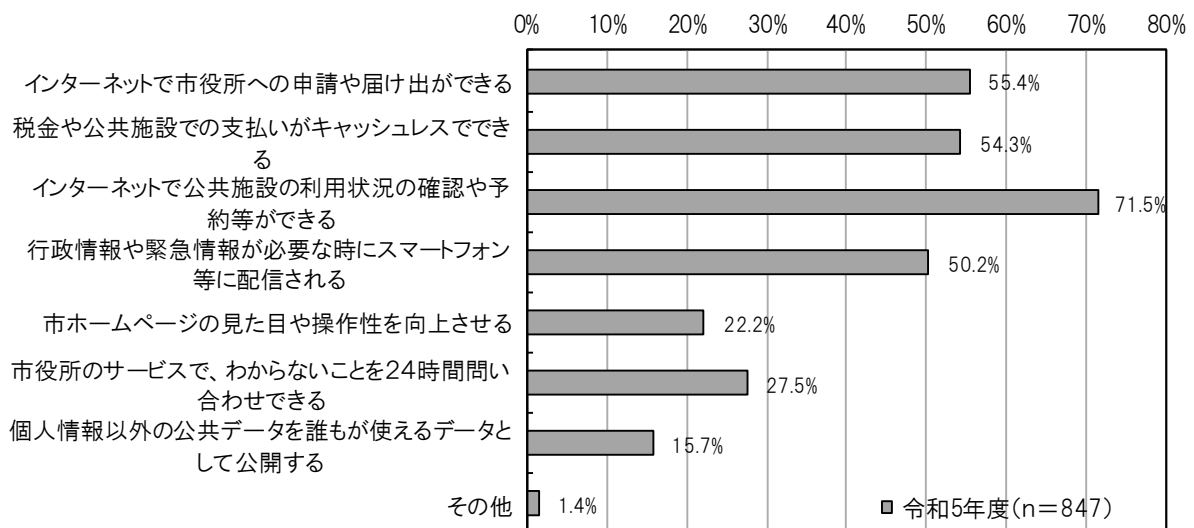
6 デジタル技術の活用について

問7 市に力を入れてほしいデジタル化の取り組み

あなたは、渋川市が行うデジタル化の取り組みについて、今後特にどのような取り組みに力を入れて欲しいと思いますか。（3つ選択）

「インターネットで公共施設利用状況の確認や予約等ができる」（71.5%）が7割以上で最も高く、次いで「インターネットで市役所への申請や届け出ができる」（55.4%）、「税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる」（54.3%）、「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」（50.2%）が5割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生共に「インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる」が最も高く、中学生（67.8%）、高校生（75.4%）となっています。



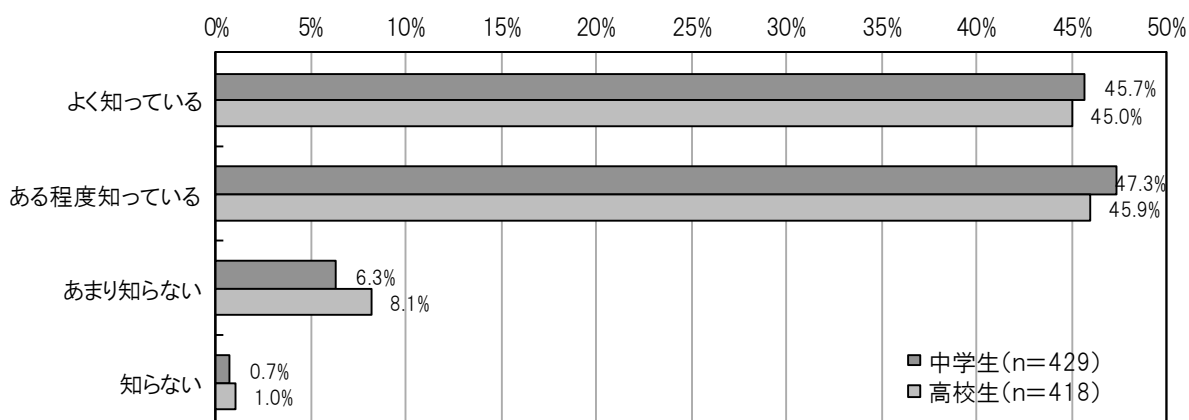
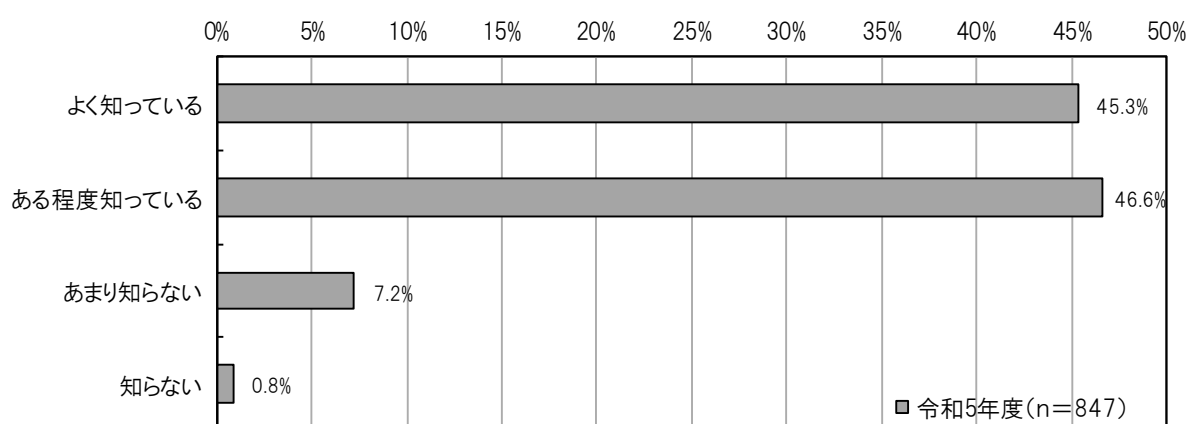
7 食品ロスについて

問8 食品ロス問題の認知度

あなたは、食品ロス（まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品）問題について知っていますか。（1つ選択）

「ある程度知っている」（46.6%）、「よく知っている」が共に4割以上で高くなっており、「よく知っている」「ある程度知っている」の合計（92.0%）は9割以上となっています。食品ロスの認知度が高い状況が見られます。

属性別に見ると、中学生、高校生で大きな差は見られません。



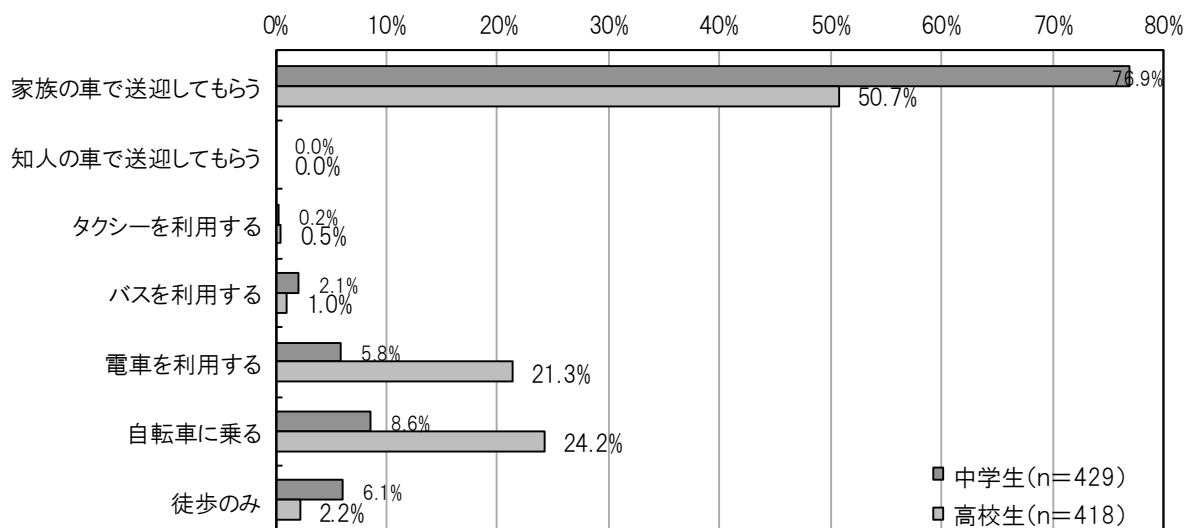
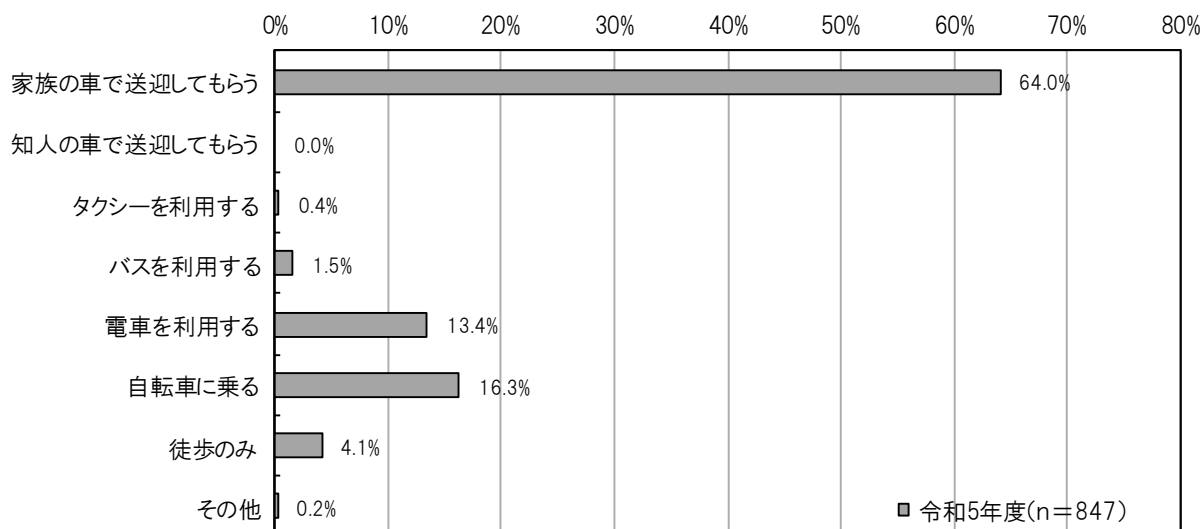
8 移動手段について

問9 外出時の移動手段

あなたは、普段の生活の中で外出する際にどのような移動手段を利用していますか。
(全て選択)

「家族の車で送迎してもらう」(64.0%)が6割以上で最も高く、次いで「自転車に乗る」(16.3%)、「電車を利用する」(13.4%)が1割以上となっています。移動の大部分で家族の車を利用している状況が見られます。

属性別に見ると、中学生、高校生共に「家族の車で送迎してもらう」が最も高くなっていますが、中学生(76.9%)と比べ高校生(50.7%)は2割以上低くなっております。一方で、高校生は「自転車に乗る」(24.2%)、「電車を利用する」(21.3%)と2割以上となっており、家族の車以外の移動手段を利用している状況が見られます。

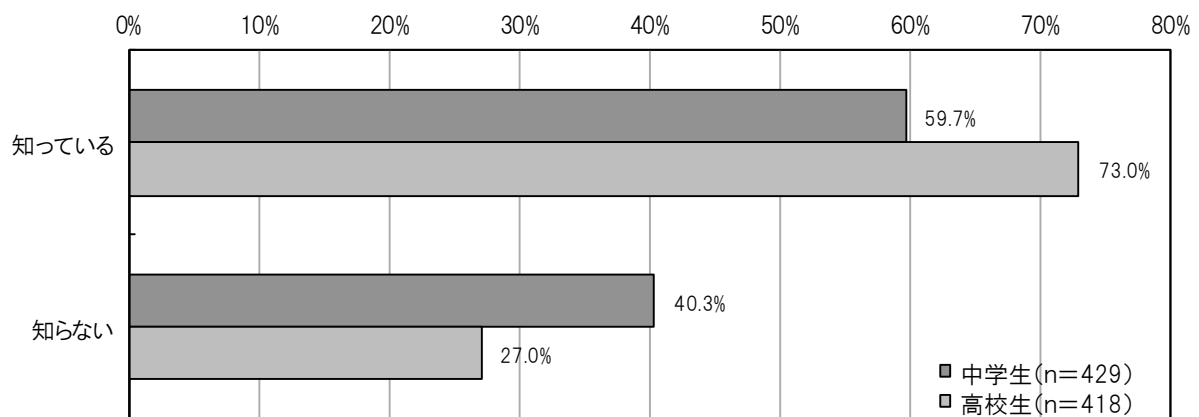
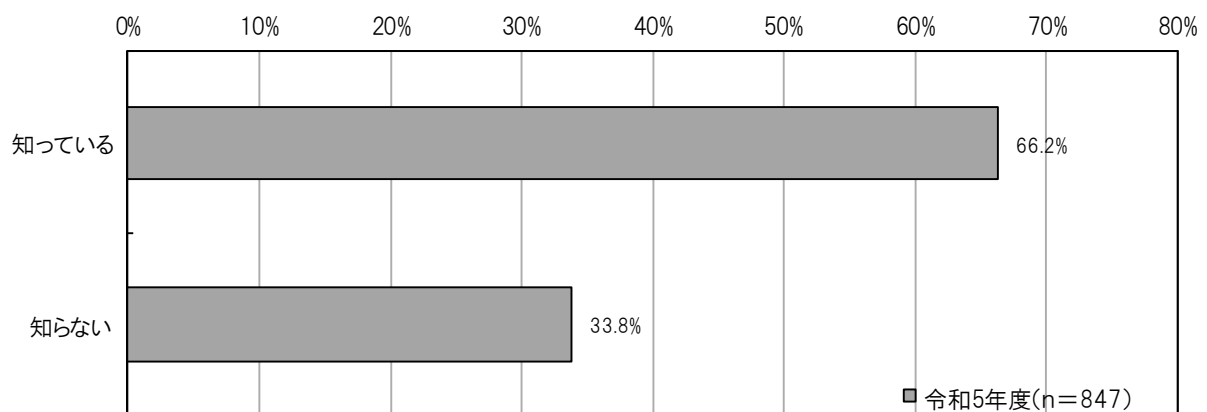


問10 路線バスの利用環境について

あなたは、自宅から一番近い路線バス（予約型バス、デマンドバスを含む）のバス停がどこにあるか知っています。（1つ選択）

「知っている」（66.2%）が6割以上となっており、中学生・高校生の半数以上が自宅の最寄りバス停の位置を知っている状況が見られます。

属性別に見ると、中学生は「知っている」（59.7%）、高校生は「知っている」（73.0%）と、高校生の方が割合が高くなっています。



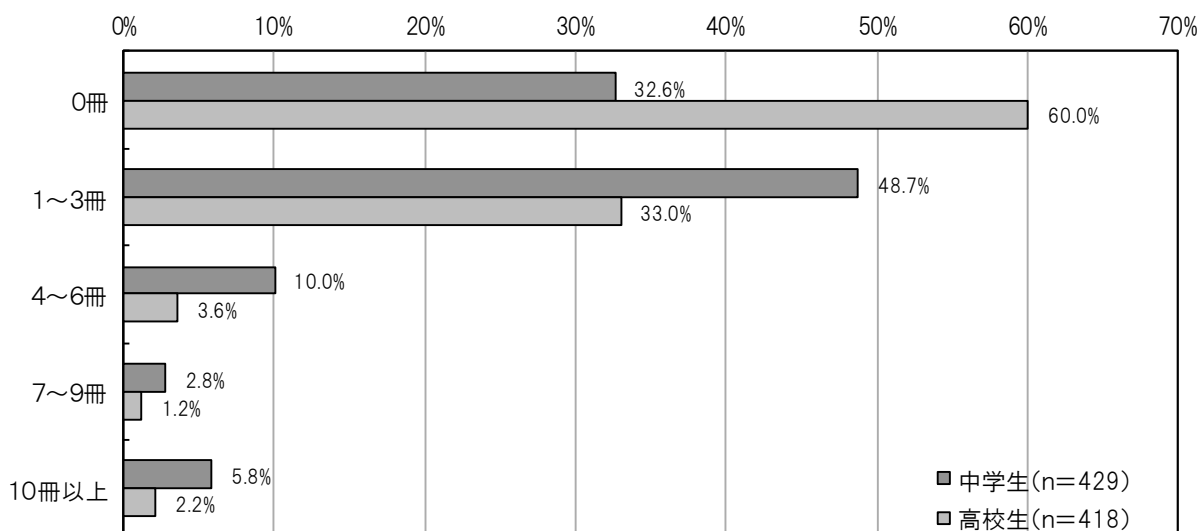
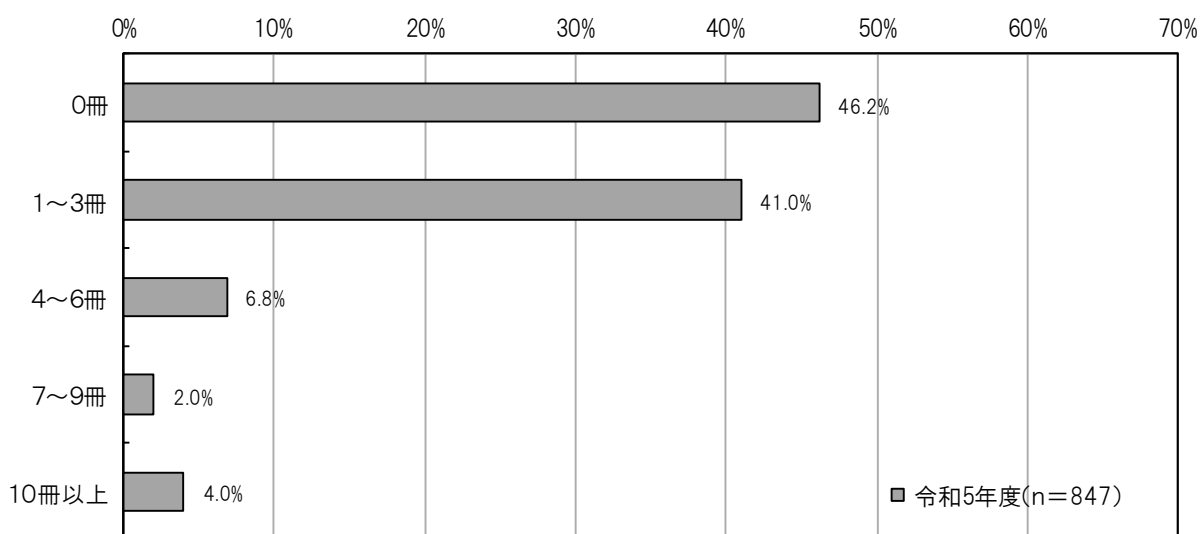
9 読書について

問11 紙の本を読む量

あなたは、1ヶ月の間に紙の本を何冊くらい読みますか。(1つ選択)

「0冊」(46.2%)、「1～3冊」(41.0%)が4割以上と高く、2項目で8割以上を占めています。

属性別に見ると、中学生は「1～3冊」(48.7%)が最も高く、高校生は「0冊」(60.0%)が最も高くなっています。高校生になると紙の本を読まなくなる傾向が見られます。

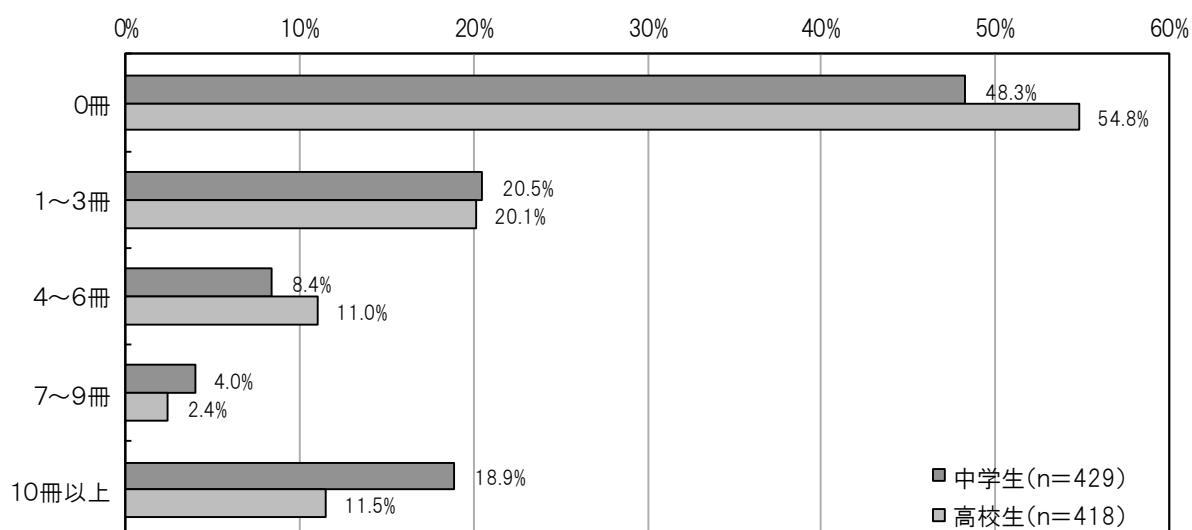
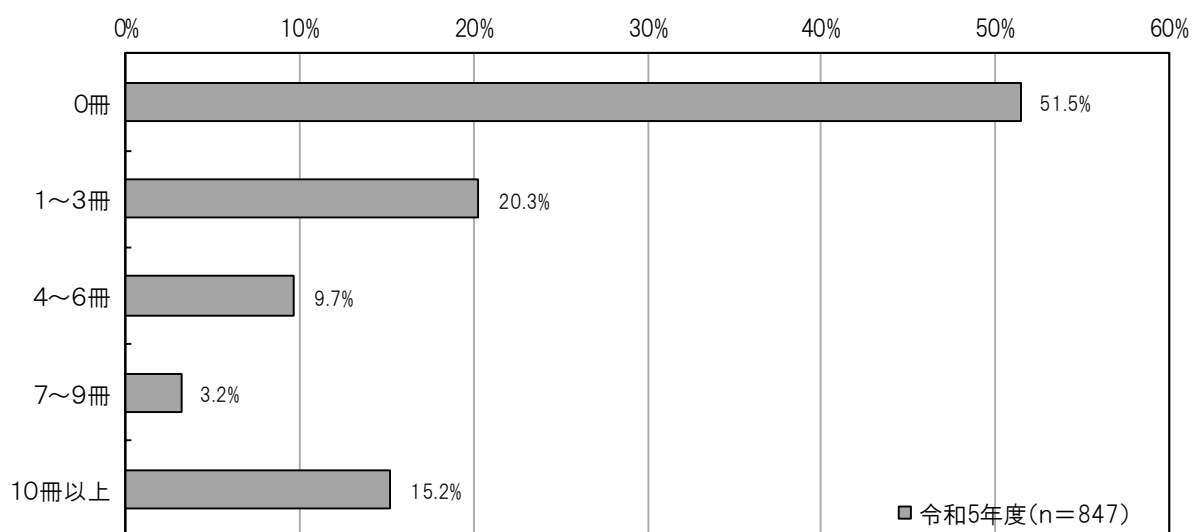


問12 電子書籍を読む量

あなたは、主にどのような目的で公園を利用しますか。(2つ選択)

「0冊」(51.5%)が最も高く、5割以上となっています。次いで、「1~3冊」(20.3%)が約2割程度、「10冊以上」(15.2%)が1割以上となっています。

属性別に見ると、中学生は「0冊」(48.3%)が最も高く、高校生も「0冊」(54.8%)が最も高くなっています。高校生になると電子書籍を本を読まなくなる傾向が見られます。

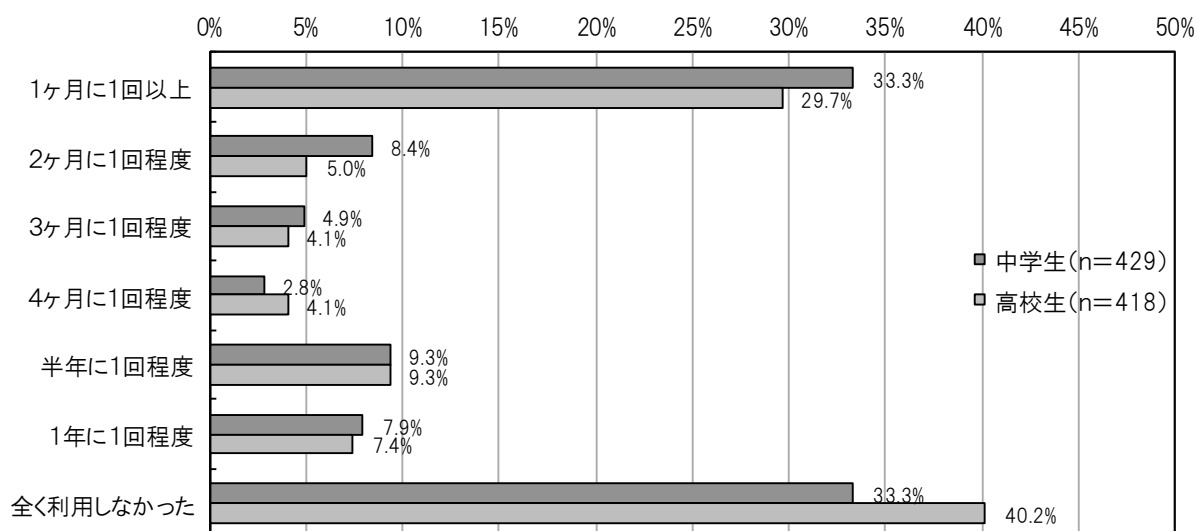
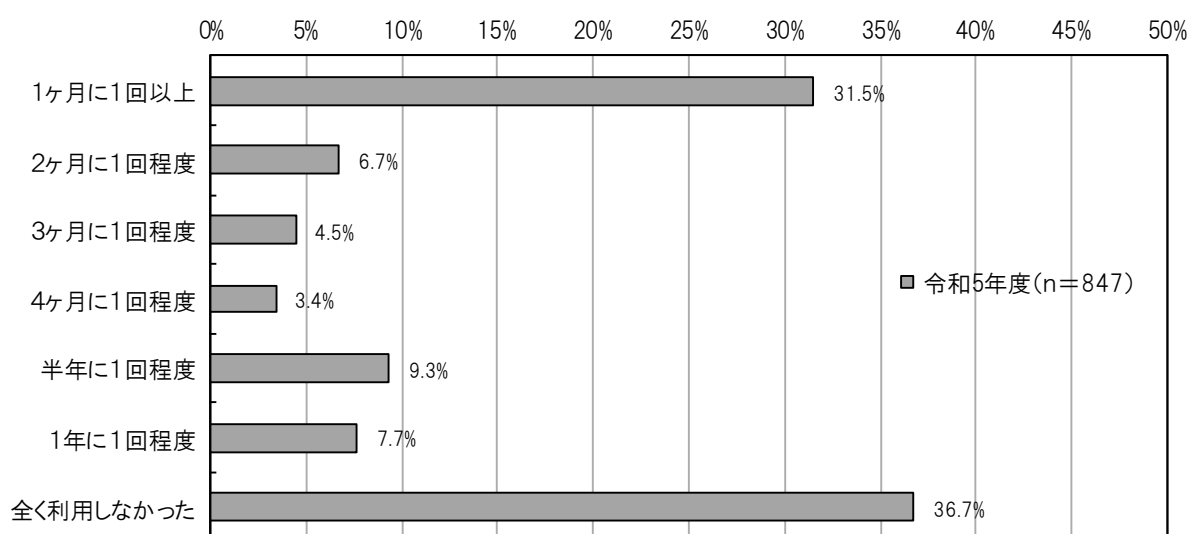


問13 図書館の利用頻度

あなたは、令和5年1月から令和5年12月までの間に、どれくらいの頻度で図書館を利用しましたか。(1つ選択)

「全く利用しなかった」(36.7%)が最も高く、次いで「1ヶ月に1回以上」(31.5%)で、共に3割以上となっています。

属性別に見ると、中学生、高校生傾向が類似しておりますが、中学生は「全く利用しなかった」「1ヶ月に1回以上」(33.3%)が同率であり、高校生は「全く利用しなかった」(40.2%)が4割以上、次いで「1ヶ月に1回以上」(29.7%)が約3割となっています。



問14 住みやすいまちづくりのために力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。(自由記入)

367人から意見をいただきました。これを現行の総合計画の6分野別に読み分けました。なお、複数の分野にまたがる内容についてはそれぞれの分野に整理、集計し、意見数は全485件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数(件)
1 安全・安心、暮らし分野	47
2 健康、福祉、スポーツ分野	48
3 産業分野	101
4 都市基盤、自然環境分野	161
5 教育、文化分野	37
6 自治、協働、行財政分野	55
7 その他	36
合計	485

【1 安全・安心、暮らし分野】

- ・災害があったときのためにハザードマップを分かりやすく作り直したりして市民がより良く生活ができるようにしていきたい。
- ・市民が住みやすいように特に子供達が安心して学校生活を送られるように不審者対策や火災対策を強化していきたいです。
- ・夜になると街灯が少なくて歩いていると怖いし不安だから街灯を増やして車を運転している人も歩行者も安心できるようにする。
- ・子どもたちが安全に心地の良い生活を送れるように防犯対策や街の整備などに力を入れたい。
- ・水道料金の支払いをもっと楽にする。

【2 健康、福祉、スポーツ分野】

- ・山間部に住んでいる方も買い出しなどに困らないように食品や日用品を手に入れられるサービスを提供したい。
- ・子育て世帯や高齢者などへの福祉サービスの向上。
- ・18歳未満、医療費無償化。給食費無償。
- ・お子様から高齢者の方まで幅広い年代の方が快適に過ごしやすい、また利用できる施設をつくりたい。
- ・少子化対策を十分に行い安心して妊娠、出産、子育てができるようにサポートする。
- ・小さい子供が使用する施設の環境を整えること。

【3 産業分野】

- ・比較的收入が低い農家に補助金。
- ・若者がたくさん利用できるお店をつくる。
- ・観光面に力を入れて経済的に渋川市が発展するようにしたい。
- ・スーパーなどの施設がある地域に偏っているから近くにお店をつくる。
- ・廃墟になったところは撤去して、コンビニを建てたりして活用する。
- ・学生のための交通機関を増やす(電車が来る頻度やバス)。自然を生かした観光地を増やす(キャンプ場やグランピングなど)。
- ・人が少ない地域に日用品を売っているお店や住宅を建てどこでも住みやすくする。
- ・駅の周りやお店を充実させ、若者からの人気やその施設のために市外から来てくれる人を狙っていく。
- ・市民の娯楽では、渋川レジャーランドや、渋川スカイランドパーク、伊香保グリーン牧場など色々あるけど、行く日を重ねる事に飽きてしまうと思うので、市民が遊戯できる場所を何箇所か増やす。
- ・渋川駅周辺の発展を図るために市がお店などが開くように誘致する(特に五叉路周辺)。
- ・移動手段などの交通機関の整備や、伊香保の人たちが下に降りなくても買い物ができるような大きめなスーパーマーケットの建設。

【4 都市基盤、自然環境分野】

- ・狭い道がないようにする。
- ・交通手段をもっと便利にします。駅前などはバスや、タクシーなどが発展していますが離れていくと電車がなくても関わらずバスが通っていかなくなり、タクシーも日中は活動していますが、夜になるとわざわざ遠くから呼ぶため時間もかかります。人口が減っていることもあるかもしれませんが、少し交通の面では不便だと感じています。
- ・お年寄りや小さな子どものいる家庭が住みやすくなるために歩道を大きくしたり見通しの悪いところを減らしたりする。
- ・交通アクセス強化、どこに行くにも親に車を頼まないと足がないから、バスなどを活用しやすくしたい。
- ・ポイ捨てを無くす。
- ・車や徒歩での通学通勤をする人が多いので道路の舗装に力を入れたい。
- ・ゴミ捨て場の場所と回収日の回数を増やしたい。
- ・きれいな街をつくるためにゴミ等を拾うボランティアなどする
- ・道路や公園などのみんなが集まる公共の場を増やし、整備をしっかりと、人と人との関わりが増える街にしたい。
- ・公園を増やしたい。遊具が沢山あれば子供が集まって来るし、ストレッチができる遊具があればお年寄りの人も集まって来ると思うから。人がたくさん集まったら楽しい公園ができると思う。
- ・道路が狭い場所や荒れた路面等を整備して市民が安全に移動できるように力をいれたいです。
- ・色々な設備や自然などの市を美しくしてくれたり、住みやすい環境。

【5 教育、文化分野】

- ・学校の古い施設の整備をすること。
- ・学校をきれいにする。特にトイレをきれいにする。洋式にする。和式でトイレをすることができない子もいるから。
- ・学生が集まるようなフリースペースをつくり、勉強などができる場所を近くにつくる。
- ・私が渋川市長になったのなら、教育に力を入れたいです。具体的には部活動の復旧です。クラブでの活動が増えてしまって部活動への力の入り用が弱まり「頑張りたいのならクラブに入れば？」に、なってしまうのが悲しいからです。
- ・学校施設のグラウンドや校舎を更に広くし渋川に来る生徒を多くする
- ・高校生が勉強しやすい環境を整える（自習室の分散）。
- ・渋川市の中学校は渋川中学校、渋川北中学校、伊香保中学校など中学校9校があるけど、どの学校の建物も年が立つと、劣化するので、増改築する。
- ・住みやすくなるために、おじいちゃんおばあちゃんや子どもたちが遊んだりくつろいだりできる公民館みたいのを作りたいです。
- ・各学校に配られている電子機器をクロームブックではなく、iPadにし、もっと生徒たちが電子機器を利用できるようにする。

【6 自治、協働、行財政分野】

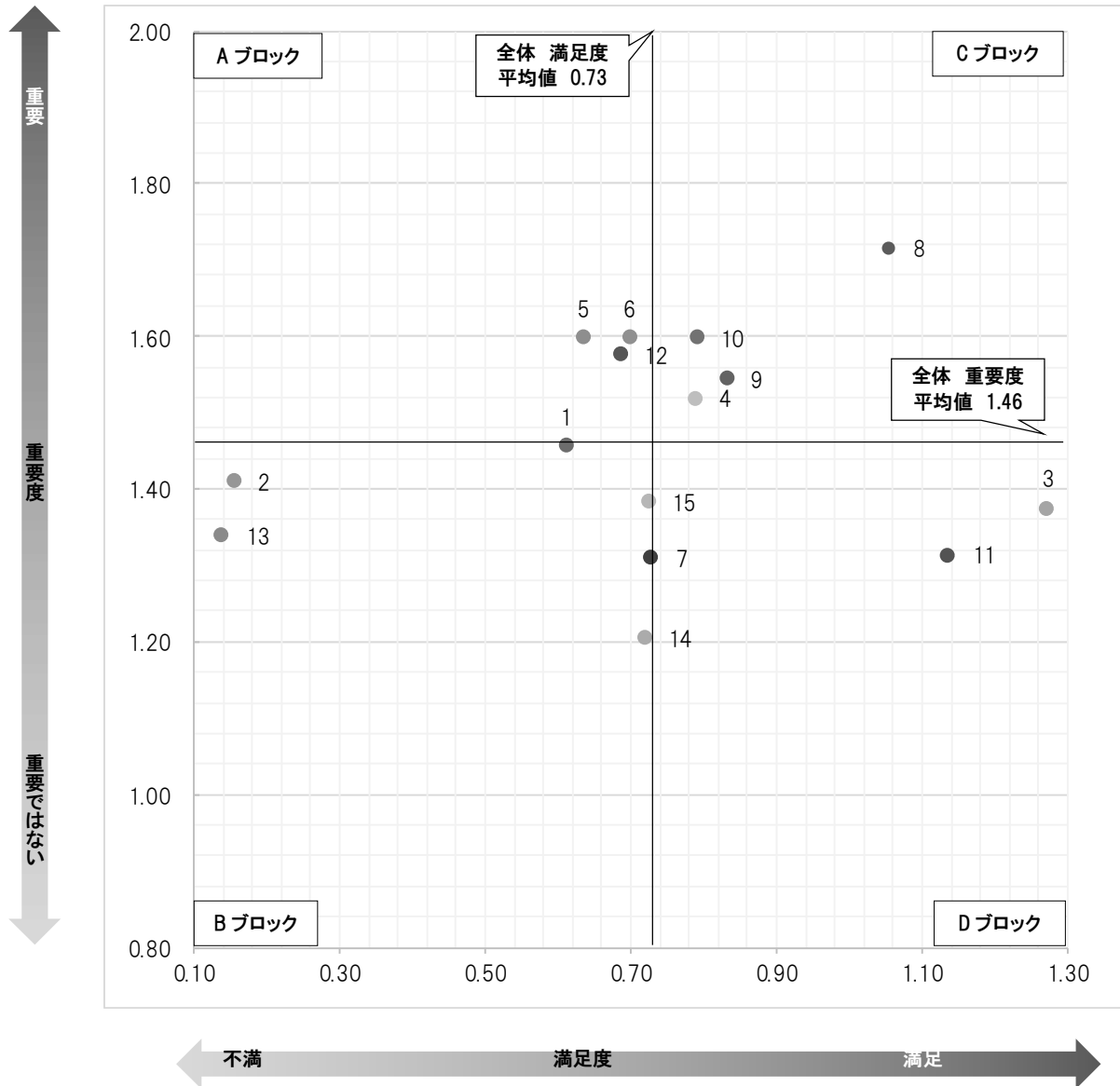
- ・地域の行事に力を入れたい。
- ・市民の意見をできるだけ取り入れ、他の地域と比べて遅れを取らないようにしたい。
- ・市民の意見を入れまとめ役をするだけで市民の方たちと平等な地位でありたい
- ・地域に寄り添いあったデジタル化の推進。
- ・宅配サービスの実施、税金のキャッシュレス決済の実施。
- ・バリアフリーを取り入れる。
- ・平和になるようにする。
- ・若者も高齢者も住みやすい施設を取り入れ環境を整える。
- ・公共施設（学校や市民体育館など）の充実。
- ・申込みなどを簡単にできるようにする

【7 その他】

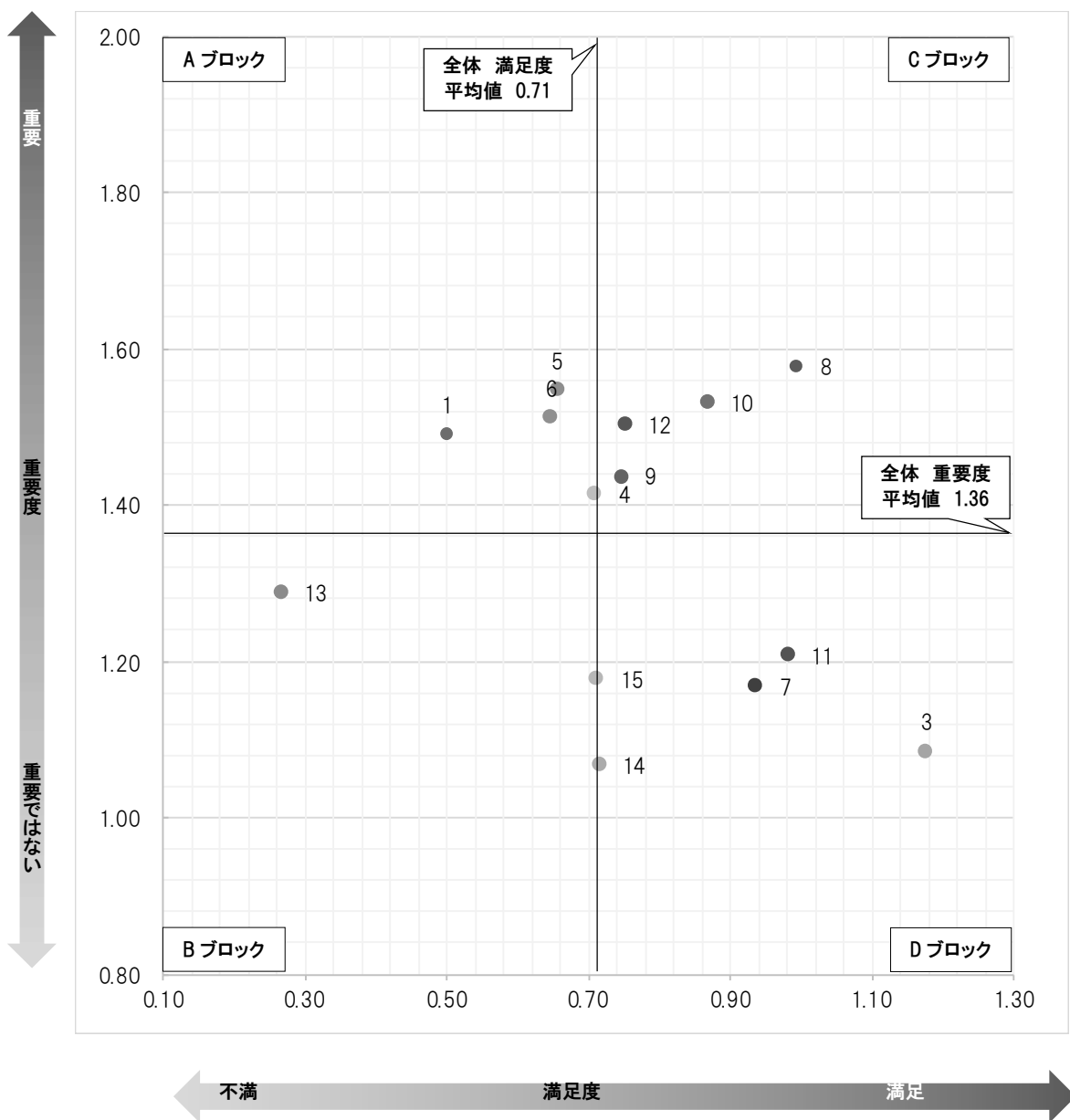
- ・便利な生活を作る。
- ・若い人を選挙に行かせる。
- ・みんなが平等にいろいろな支援制度を作る。
- ・全体的にバランスよく力を入れていき、どの方面から見ても市民の不満の少ないまちにしたい。

資料

中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）



中学生	満足度平均値 0.73	重要度平均値 1.46
1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	
2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	10 学校の教育や施設が充実している	
3 森林や河川などの自然環境が豊かである	11 地域の祭など伝統文化が豊かである	
4 市街地が整備され、快適に暮らせる	12 日々の買い物 convenient である	
5 災害などに備える防災機能が整備されている	13 観光地やレジャー施設が充実している	
6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている	14 地域のボランティア団体などが充実している	
7 身近な公園や広場が整備されている	15 市からの情報が充実している	
8 病院・診療所などの医療サービスが充実している		



高校生	満足度平均値 0.71	重要度平均値 1.36
-----	-------------	-------------

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

令和5年度 中学生・高校生意識調査

中学生・高校生意識調査ご協力をお願い

皆さん、こんにちは。

市では、皆さんが住みやすいまちを目指し、様々な取組を行っています。

そこで、将来のまちづくりの主役となる中学生及び高校生の皆さんに、まちづくりについての意見や希望をお伺いし、これからのまちづくりにいかすため、調査を実施します。

なお、本調査の結果につきましては、ホームページ等で公表する予定です。

皆さんが普段考えていることをお答えください。よろしくお願いいたします。

令和6年1月

渋川市長 高木 勉

ご記入に当たって

- 1 回答は、次のとおり行ってください。
 - **選択肢の中から、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。**
 - ○印の数は、質問ごとに「3つまで選んで○」「あてはまるもの全てに○」などの指定に合わせてください。
 - 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 2 回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、回答いただいた方が特定されることはありません。

【お問合せ先】 渋川市 総合戦略部 政策戦略課 政策創造係

電話：0279-25-8554 FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別は、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

【2】あなたは、中学生ですか、高校生ですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 中学生 | 2. 高校生 |
|--------|--------|

【3】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 渋川地区 | 5. 赤城地区 |
| 2. 伊香保地区 | 6. 北橘地区 |
| 3. 小野上地区 | 7. その他（市・町・村） |
| 4. 子持地区 | |

【4】前問【3】で、1～6を選んだ方にお伺いします。あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 2. 3年以上5年未満 | 4. 10年以上 |

【5】あなたは、将来渋川市に住みたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。（渋川市外にお住まいの方もお答えください。）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 渋川市内に住み続けたい | 4. 渋川市内に移り住みたい |
| 2. 一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい | 5. 渋川市内に移り住みたくない |
| 3. 渋川市外に移りたい | 6. わからない |

市の現状の評価についてお伺いします。

【問1】 あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。次の1～15の各項目について、「満足度」欄及び「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
(例)	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	森林や河川などの自然環境が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	市街地が整備され、快適に暮らせる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	災害などに備える防災機能が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	安心して暮らせる防犯体制が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	身近な公園や広場が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	病院・診療所などの医療サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	学校の教育や施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	地域の祭など伝統文化が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	日々の買い物が便利である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	観光地やレジャー施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	地域のボランティア団体などが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	市からの情報が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

市に関する情報を得る方法についてお伺いします。

【問2】あなたは、渋川市からのお知らせや渋川市に関する情報を主にどのように入手していますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 広報しづかわ | 4. 回覧物や配布物 |
| 2. 市ホームページ | 5. 新聞 |
| 3. 市公式SNS | 6. その他 () |

選挙についてお伺いします。

【問3】あなたは、選挙（制度、投票、実際の選挙）に関して、今までにどのようなことで関わったことがありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 学校の授業で選挙制度について習ったことがある | 5. 自分から選挙や立候補者の情報（ホームページ、SNS、新聞、演説等）を見たり聞いたりしたことがある |
| 2. 選挙講座や疑似投票を体験したことがある | 6. 関わったことはない |
| 3. 家族の投票と一緒に投票所に行ったことがある | 7. その他 () |
| 4. 家族や友達と選挙について話したことがある | |

【問4】あなたは、18歳になったら選挙で投票に行こうと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【問5】【問4】で、選択肢2を選んだ人にお伺いします。
あなたが投票に行かないと思っている主な理由は何ですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 投票の方法が難しそうだから | 4. 投票しても意味が無さそうだから |
| 2. 誰に投票していいか分からなそうだから | 5. 今のままでも困ることはなさそうだから |
| 3. 投票に行くのが面倒そうだから | 6. その他 () |

インターネットの利用状況についてお伺いします。

【問6】あなたは、どのような情報通信機器を使ってインターネットを利用していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. スマートフォン | 5. 自宅以外のパソコン |
| 2. スマートフォン以外の携帯電話 | 6. インターネット接続できる家電等 |
| 3. タブレット型端末 | 7. インターネットは利用していない |
| 4. 自宅のパソコン | 8. その他 () |

【問7】あなたは、渋川市が行うデジタル化の取り組みについて、今後特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。3つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. インターネットで市役所への申請や届け出ができる | 5. 市ホームページの見た目や操作性を向上させる |
| 2. 税金や公共施設での支払いがキャッシュレスでできる | 6. 市役所のサービスで、わからないことを24時間問い合わせできる |
| 3. インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる | 7. 個人情報以外の公共データを誰もが使えるデータとして公開する |
| 4. 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される | 8. その他 () |

食品ロスについてお伺いします。

【問8】あなたは、食品ロス（まだ食べることができるのに捨ててしまう食品）問題について知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. よく知っている | 3. あまり知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. 知らない |

外出時の移動手段についてお伺いします。

【問9】あなたは、普段の生活の中で外出する際にどのような移動手段を利用していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 家族の車で送迎してもらう | 5. 電車を利用する |
| 2. 知人の車で送迎してもらう | 6. 自転車に乗る |
| 3. タクシーを利用する | 7. 徒歩のみ |
| 4. バスを利用する | 8. その他 () |

路線バスの利用環境についてお伺いします。

【問10】あなたは、自宅から一番近い路線バス（予約型バス、デマンドバスを含む）のバス停がどこにあるか知っていますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

読書についてお伺いします。

【問11】あなたは、1ヶ月の間に紙の本を何冊くらい読みますか。1つ選んで○をつけてください。

※図書館や友人などから借りて読む本も含めて回答してください。

※電子書籍、教科書、学習参考書、マンガ、雑誌を除く。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 0冊 | 4. 7～9冊 |
| 2. 1～3冊 | 5. 10冊以上 |
| 3. 4～6冊 | |

【問12】あなたは、1ヶ月の間に電子書籍を何冊くらい読みますか。1つ選んで○をつけてください。

※電子図書館で借りる本も含めて回答してください。なお、マンガ、雑誌も含めるものとします。

※教科書、学習参考書を除く。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 0冊 | 4. 7～9冊 |
| 2. 1～3冊 | 5. 10冊以上 |
| 3. 4～6冊 | |

【問13】あなたは、令和5年1月から令和5年12月までの間に、どれくらいの頻度で図書館を利用しましたか。1つ選んで○をつけてください。

※渋川市外の図書館や、学校や公民館にある図書室なども含めるものとします。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1ヶ月に1回以上 | 5. 半年に1回程度 |
| 2. 2ヶ月に1回程度 | 6. 1年に1回程度 |
| 3. 3ヶ月に1回程度 | 7. 全く利用しなかった |
| 4. 4ヶ月に1回程度 | |

市政について伺います。

【問14】あなたが浜川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。